

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道55号	高知東部自動車道	L=36.0km	高規格B	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
2,200~30,800	2, 4	四国地方整備局

## ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和2年度		
単純合計	2,653億円	478億円	3,131億円
うち残事業分	584億円	332億円	916億円
基準年における 現在価値 (C)	3,574億円	193億円	3,768億円
うち残事業分	487億円	110億円	598億円

## ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和2年度			
供用年	平成23年度(暫定)、平成25年度(暫定)、平成26年度(暫定)、 平成27年度(暫定)、平成28年度(暫定) 令和3年度(暫定)、令和7年度(暫定)、令和10年度(暫定)、令和12年度(完成)			
単年便益 (初年便益)	25億円	1.5億円	0.50億円	28億円
基準年における 現在価値 (B)	4,299億円	504億円	167億円	4,970億円
うち残事業分	1,431億円	171億円	70億円	1,671億円

③ 結果

費用便益比 (B/C)	1.3
経済的純現在価値 (B-C)	1,202億円
経済的内部収益率 (EIRR)	5.3%
費用便益比 (残事業)	2.8
経済的純現在価値 (残事業)	1,074億円
経済的内部収益率 (残事業)	13.5%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	2,200~30,800	±10%	1.3~1.4
事業費	2,653億円	±10%	1.3~1.3
事業期間	40年	±20%	1.3~1.3

(残事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	2,200~30,800	±10%	2.4~3.2
事業費	584億円	±10%	2.6~3.0
事業期間	9年	±20%	2.7~2.9

交通状況の変化

【事業全体】

様式-3①

事業名：高知東部自動車道

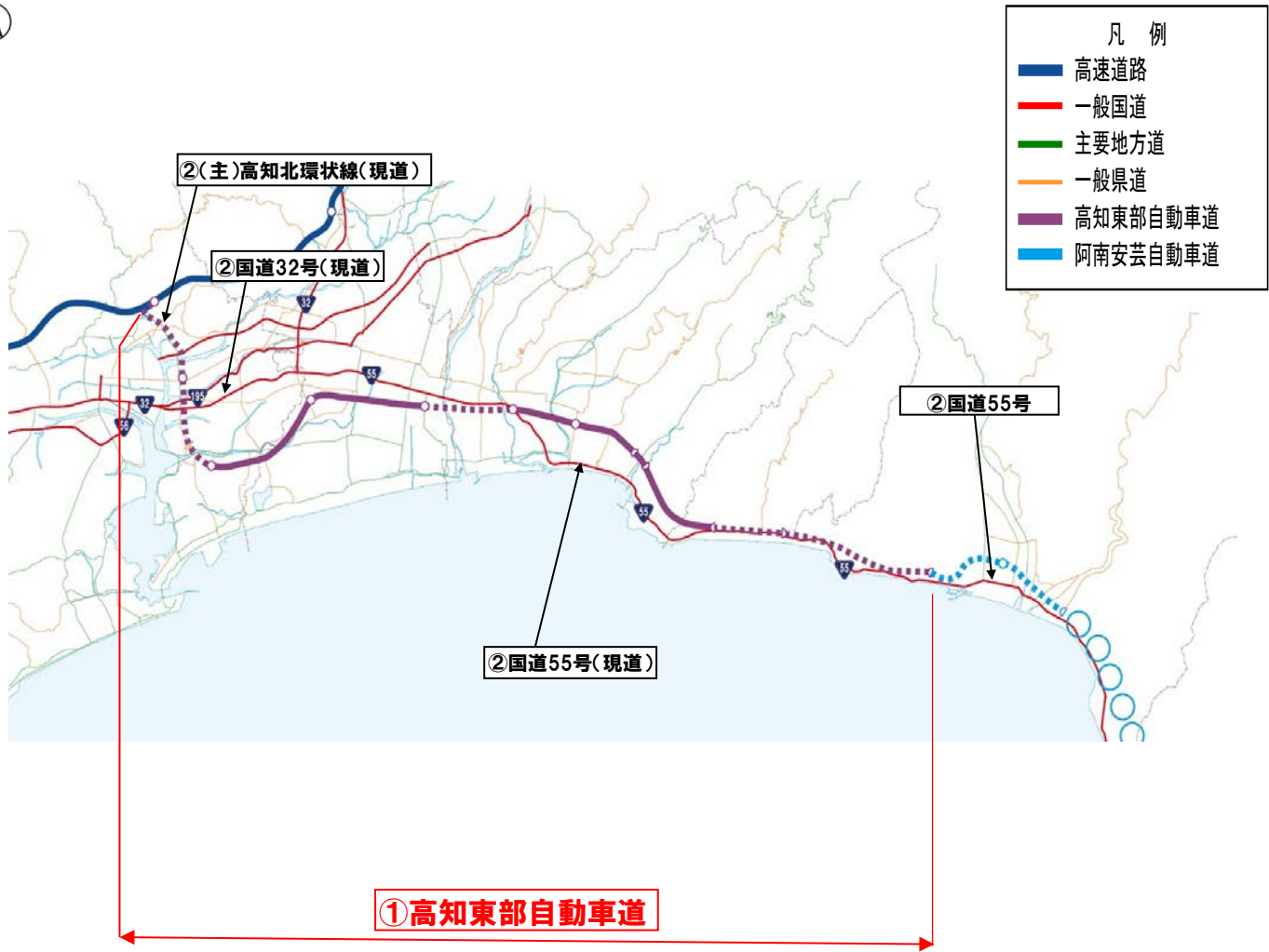
(推計時点 R12年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [高知東部自動車道] : 36.0km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]		19,900	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]		27	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]		468.30	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	(主)高知北環状線(現道) : 3.6km	交通量	[台/日]	10,600	10,200
		走行時間	[分]	8	7
		走行時間費用	[億円/年]	127.82	126.88
	国道32号(現道) : 4.6km	交通量	[台/日]	33,800	26,200
		走行時間	[分]	9	8
		走行時間費用	[億円/年]	426.68	408.95
	国道55号(現道) : 27.3km	交通量	[台/日]	25,100	7,800
		走行時間	[分]	58	36
		走行時間費用	[億円/年]	1,535.48	1,334.10
	国道55号 : 7.1km	交通量	[台/日]	8,000	8,100
		走行時間	[分]	13	14
		走行時間費用	[億円/年]	177.69	178.37
③その他道路合計：4428.8km	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]	40,799.06	40,347.40	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：4507.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	43,066.73	42,864.00	202.73

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



交通状況の変化

【残事業】

様式-3①

事業名：高知東部自動車道

(推計時点 R12年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [高知東部自動車道] : 36.0km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	15,400	19,900	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	19	27	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	298	343	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	(主)高知北環状線(現道) : 3.6km	交通量	[台/日]	10,600	10,200
		走行時間	[分]	8	7
		走行時間費用	[億円/年]	55	54
	国道32号(現道) : 4.6km	交通量	[台/日]	28,800	26,200
		走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	168	162
	国道55号(現道) : 27.3km	交通量	[台/日]	19,300	7,800
		走行時間	[分]	46	36
		走行時間費用	[億円/年]	515	403
	国道55号 : 7.1km	交通量	[台/日]	8,100	8,100
		走行時間	[分]	13	14
		走行時間費用	[億円/年]	80	80
	③その他道路合計：4428.8km	交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
			17,836.39	17,809.29	

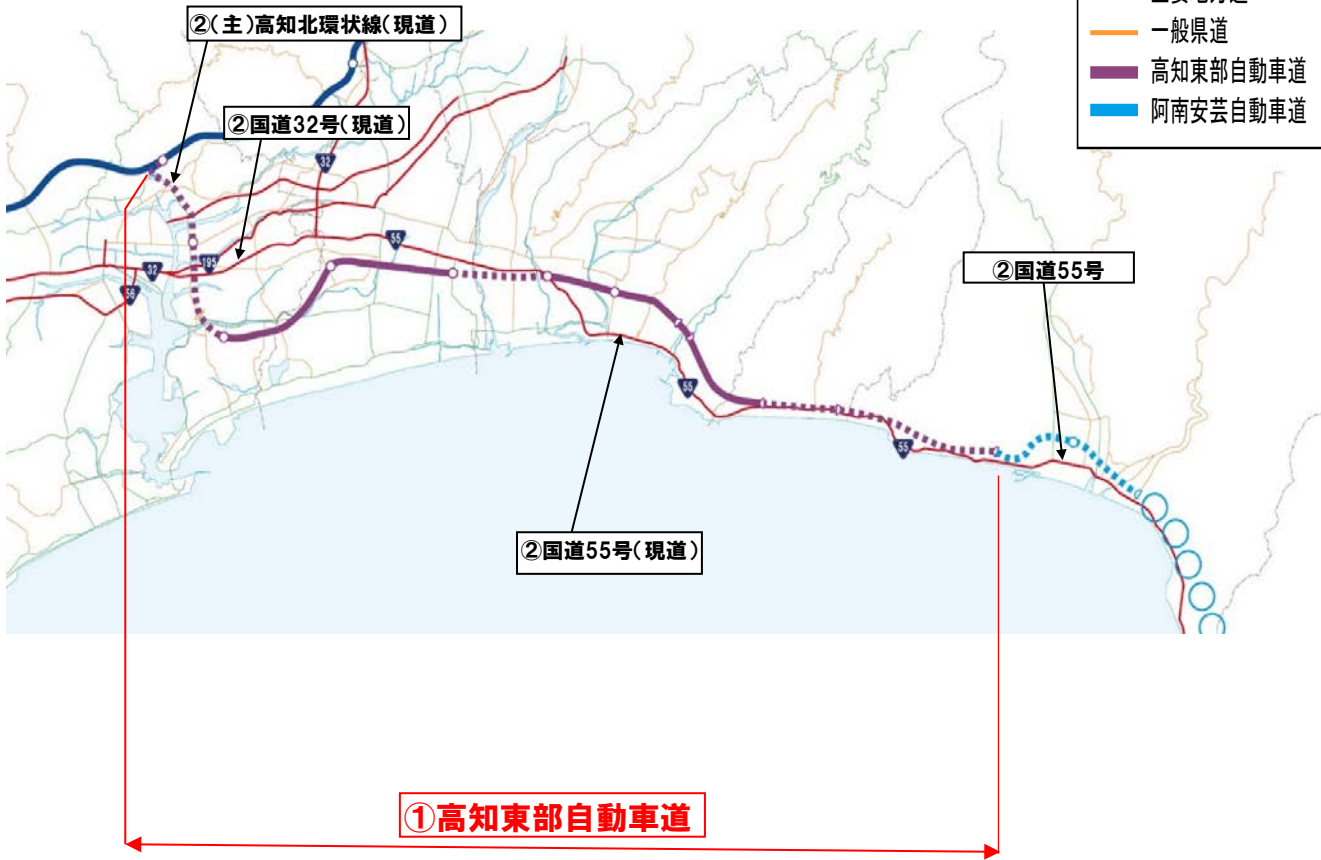
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：4507.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	18,951.00	18,851.17	99.83

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



凡例	
	高速道路
	一般国道
	主要地方道
	一般県道
	高知東部自動車道
	阿南安芸自動車道



# 費用便益分析の条件

事業名: 高知東部自動車道

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和2年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他( )	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
		その他( )	
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他( )		<input type="checkbox"/>	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量推計結果について、交通容量(Qmax)以上の路線交通容量(Qmin~Qmax) 内の路線等が混在した配分結果となっているため、便益算出においては速度差の 生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
その他( )		<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	( ) %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日
	冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載			
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他 ( )	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				



(4)

項目		チェック欄		
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他(概略事業計画による値を採用)	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載		
		土佐国道事務所の実績値により設定		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない		<input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する		<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)				
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

# 費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名：高知東部自動車道

【事業全体】

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費 (億円)		維持管理費 (億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-21年目	H 2	3.2434	113.3	0.77	2.26		
-20年目	H 3	3.1187	116.0	4.85	13.42		
-19年目	H 4	2.9987	117.6	7.36	19.28		
-18年目	H 5	2.8834	117.9	17.93	45.09		
-17年目	H 6	2.7725	117.8	13.13	31.76		
-16年目	H 7	2.6658	117.1	21.94	51.34		
-15年目	H 8	2.5633	116.6	43.83	99.06		
-14年目	H 9	2.4647	117.5	35.12	75.74		
-13年目	H 10	2.3699	116.9	68.26	142.27		
-12年目	H 11	2.2788	115.2	78.39	159.40		
-11年目	H 12	2.1911	113.8	47.72	94.45		
-10年目	H 13	2.1068	112.4	61.63	118.75		
-9年目	H 14	2.0258	110.5	45.82	86.35		
-8年目	H 15	1.9479	109.0	50.33	92.45		
-7年目	H 16	1.8730	107.9	50.56	90.23		
-6年目	H 17	1.8009	106.7	65.64	113.88		
-5年目	H 18	1.7317	105.9	77.65	130.53		
-4年目	H 19	1.6651	105.0	65.27	106.41		
-3年目	H 20	1.6010	104.4	60.74	95.75		
-2年目	H 21	1.5395	103.0	66.11	101.57		
-1年目	H 22	1.4802	101.3	65.30	98.09		
暫定供用①開始年次	H 23	1.4233	99.8	73.00	107.03	0.64	0.94
1年目	H 24	1.3686	99.0	121.02	171.99	0.64	0.91
暫定供用②開始年次	H 25	1.3159	99.0	107.21	146.50	1.10	1.51
暫定供用③開始年次	H 26	1.2653	101.5	93.42	119.72	1.44	1.85
暫定供用④開始年次	H 27	1.2167	103.0	66.12	80.29	2.21	2.69
暫定供用⑤開始年次	H 28	1.1699	102.8	134.50	157.35	2.89	3.38
6年目	H 29	1.1249	102.9	142.26	159.87	2.89	3.25
7年目	H 30	1.0816	102.8	137.00	148.18	2.89	3.12
8年目	R 1	1.0400	102.8	146.30	152.15	2.91	3.03
9年目	R 2	1.0000	102.8	100.34	100.34	2.91	2.91
暫定供用⑥開始年次	R 3	0.9615	102.8	58.59	56.34	3.92	3.77
11年目	R 4	0.9246	102.8	61.81	57.15	3.92	3.62
12年目	R 5	0.8890	102.8	59.07	52.52	3.92	3.48
13年目	R 6	0.8548	102.8	84.58	72.30	3.92	3.35
暫定供用⑦開始年次	R 7	0.8219	102.8	102.62	84.34	4.49	3.69
15年目	R 8	0.7903	102.8	101.75	80.41	4.49	3.55
16年目	R 9	0.7599	102.8	50.58	38.44	4.49	3.41
暫定供用⑧開始年次	R 10	0.7307	102.8	36.80	26.89	5.88	4.30
18年目	R 11	0.7026	102.8	27.71	19.47	5.88	4.13
完成供用開始年次	R 12	0.6756	102.8			9.55	6.46
20年目	R 13	0.6496	102.8			9.55	6.21
21年目	R 14	0.6246	102.8			9.55	5.97
22年目	R 15	0.6006	102.8			9.55	5.74
23年目	R 16	0.5775	102.8			9.55	5.52
24年目	R 17	0.5553	102.8			9.55	5.31
25年目	R 18	0.5339	102.8			9.55	5.10
26年目	R 19	0.5134	102.8			9.55	4.91
27年目	R 20	0.4936	102.8			9.55	4.72
28年目	R 21	0.4746	102.8			9.55	4.53
29年目	R 22	0.4564	102.8			9.55	4.36
30年目	R 23	0.4388	102.8			9.55	4.19
31年目	R 24	0.4220	102.8			9.55	4.03
32年目	R 25	0.4057	102.8			9.55	3.88
33年目	R 26	0.3901	102.8			9.55	3.73
34年目	R 27	0.3751	102.8			9.55	3.58
35年目	R 28	0.3607	102.8			9.55	3.45
36年目	R 29	0.3468	102.8			9.55	3.31
37年目	R 30	0.3335	102.8			9.55	3.19
38年目	R 31	0.3207	102.8			9.55	3.06
39年目	R 32	0.3083	102.8			9.55	2.95
40年目	R 33	0.2965	102.8			9.55	2.83
41年目	R 34	0.2851	102.8			9.55	2.72
42年目	R 35	0.2741	102.8			9.55	2.62
43年目	R 36	0.2636	102.8			9.55	2.52
44年目	R 37	0.2534	102.8			9.55	2.42
45年目	R 38	0.2437	102.8			9.55	2.33
46年目	R 39	0.2343	102.8			9.55	2.24
47年目	R 40	0.2253	102.8			9.55	2.15
48年目	R 41	0.2166	102.8			9.55	2.07
49年目	R 42	0.2083	102.8			9.55	1.99
50年目	R 43	0.2003	102.8			8.92	1.79
51年目	R 44	0.1926	102.8			8.92	1.72
52年目	R 45	0.1852	102.8			8.45	1.56
53年目	R 46	0.1780	102.8			8.08	1.44
54年目	R 47	0.1712	102.8			7.32	1.25
55年目	R 48	0.1646	102.8			6.65	1.09
56年目	R 49	0.1583	102.8			6.65	1.05
57年目	R 50	0.1522	102.8			6.65	1.01
58年目	R 51	0.1463	102.8			6.65	0.97
59年目	R 52	0.1407	102.8			6.65	0.94

60年目	R 53	0.1353	102.8			5.64	0.76
61年目	R 54	0.1301	102.8			5.64	0.73
62年目	R 55	0.1251	102.8			5.64	0.71
63年目	R 56	0.1203	102.8			5.64	0.68
64年目	R 57	0.1157	102.8			5.06	0.59
65年目	R 58	0.1112	102.8			5.06	0.56
66年目	R 59	0.1069	102.8	-21.98	-2.35	5.06	0.54
67年目	R 60	0.1028	102.8			3.67	0.38
68年目	R 61	0.0989	102.8	-228.17	-22.57	3.67	0.36
合計				2,402.88	3,574.44	477.61	193.11

単純事業費計				2,653.02		477.61	
--------	--	--	--	----------	--	--------	--

- 注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)
- 注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

## 費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名：高知東部自動車道 (高知龍馬空港IC～安芸西IC)		【残事業】		維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.20	36.0	7.31	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
暫定供用⑥開始年次	R 3	0.9615	102.8	58.59	56.34	1.01	0.97
1年目	R 4	0.9246	102.8	61.81	57.15	1.01	0.93
2年目	R 5	0.8890	102.8	59.07	52.52	1.01	0.90
3年目	R 6	0.8548	102.8	84.58	72.30	1.01	0.86
暫定供用⑦開始年次	R 7	0.8219	102.8	102.62	84.34	1.58	1.30
5年目	R 8	0.7903	102.8	101.75	80.41	1.58	1.25
6年目	R 9	0.7599	102.8	50.58	38.44	1.58	1.20
暫定供用⑧開始年次	R 10	0.7307	102.8	36.80	26.89	2.97	2.17
8年目	R 11	0.7026	102.8	27.71	19.47	2.97	2.09
完成供用開始年次	R 12	0.6756	102.8			6.65	4.49
10年目	R 13	0.6496	102.8			6.65	4.32
11年目	R 14	0.6246	102.8			6.65	4.15
12年目	R 15	0.6006	102.8			6.65	3.99
13年目	R 16	0.5775	102.8			6.65	3.84
14年目	R 17	0.5553	102.8			6.65	3.69
15年目	R 18	0.5339	102.8			6.65	3.55
16年目	R 19	0.5134	102.8			6.65	3.41
17年目	R 20	0.4936	102.8			6.65	3.28
18年目	R 21	0.4746	102.8			6.65	3.15
19年目	R 22	0.4564	102.8			6.65	3.03
20年目	R 23	0.4388	102.8			6.65	2.92
21年目	R 24	0.4220	102.8			6.65	2.80
22年目	R 25	0.4057	102.8			6.65	2.70
23年目	R 26	0.3901	102.8			6.65	2.59
24年目	R 27	0.3751	102.8			6.65	2.49
25年目	R 28	0.3607	102.8			6.65	2.40
26年目	R 29	0.3468	102.8			6.65	2.30
27年目	R 30	0.3335	102.8			6.65	2.22
28年目	R 31	0.3207	102.8			6.65	2.13
29年目	R 32	0.3083	102.8			6.65	2.05
30年目	R 33	0.2965	102.8			6.65	1.97
31年目	R 34	0.2851	102.8			6.65	1.89
32年目	R 35	0.2741	102.8			6.65	1.82
33年目	R 36	0.2636	102.8			6.65	1.75
34年目	R 37	0.2534	102.8			6.65	1.68
35年目	R 38	0.2437	102.8			6.65	1.62
36年目	R 39	0.2343	102.8			6.65	1.56
37年目	R 40	0.2253	102.8			6.65	1.50
38年目	R 41	0.2166	102.8			6.65	1.44
39年目	R 42	0.2083	102.8			6.65	1.38
40年目	R 43	0.2003	102.8			6.65	1.33
41年目	R 44	0.1926	102.8			6.65	1.28
42年目	R 45	0.1852	102.8			6.65	1.23
43年目	R 46	0.1780	102.8			6.65	1.18
44年目	R 47	0.1712	102.8			6.65	1.14
45年目	R 48	0.1646	102.8			6.65	1.09
46年目	R 49	0.1583	102.8			6.65	1.05
47年目	R 50	0.1522	102.8			6.65	1.01
48年目	R 51	0.1463	102.8			6.65	0.97
49年目	R 52	0.1407	102.8			6.65	0.94
50年目	R 53	0.1353	102.8			5.64	0.76
51年目	R 54	0.1301	102.8			5.64	0.73
52年目	R 55	0.1251	102.8			5.64	0.71
53年目	R 56	0.1203	102.8			5.64	0.68
54年目	R 57	0.1157	102.8			5.06	0.59
55年目	R 58	0.1112	102.8			5.06	0.56
56年目	R 59	0.1069	102.8	-4.01	-0.43	5.06	0.54
57年目	R 60	0.1028	102.8			3.67	0.38
58年目	R 61	0.0989	102.8	0.00	0.00	3.67	0.36
合計				579.50	487.43	332.27	110.31
単純事業費計				583.51		332.27	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。





## 参考様式-1

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道55号	高知南国道路・南国安芸道路・ 南国安芸道路(芸西西-安芸西)	4, 2	36.0km

### ■事業費内訳 (全体事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					211,315	
改良費					27,737	
		土工	m <sup>3</sup>	4,332,388	8,752	切土、盛土、捨土
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>	-	-	
		法面工	m <sup>2</sup>	183,211	1,624	切土法面、法面对策、落石対策
		擁壁工	式	1	5,448	重力式擁壁、逆T型擁壁、もたれ擁壁、補強土壁、U型擁壁
		管渠工	m	2,152	118	
		函渠工	m	2,406	5,738	
		排水工	m	61,770	2,577	
		中央分離帯工	m	11,923	673	
		雑工	式	1	2,807	
橋梁費					136,883	
		100m以上	m	21,057	129,360	鋼橋、PC橋、連続高架橋
		100m未満	m	1,378	7,523	鋼橋、PC橋
トンネル費					23,840	
		NATM	m	7,441	23,840	
		シールド	m	-	-	
IC・JCT費					17,911	
		IC	箇所	11	17,911	トランペット型、準直結Y型、ダイヤモンド型
		JCT	箇所	-	-	
舗装費					3,249	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	262,822	3,249	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	-	-	
付帯施設費					1,695	
		交通管理施設工	式	1	781	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m	8,487	914	
②用地及補償費					43,918	
用地費			m <sup>2</sup>	1,592,507	27,001	
		宅地	m <sup>2</sup>	119,971	10,743	
		田畑	m <sup>2</sup>	1,102,783	15,240	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	369,753	1,019	
		その他	m <sup>2</sup>	-	-	
補償費			式	1	16,917	
③間接経費					27,667	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					282,900	

#### 【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

## 参考様式-1

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道55号	高知南国道路・南国安芸道路・ 南国安芸道路(芸西西-安芸西)	4, 2	36.0km

### ■事業費内訳 (残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					60,503	
改良費					8,143	
		土工	m <sup>3</sup>	1,709,497	4,317	切土、盛土、捨土
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>	-	-	
		法面工	m <sup>2</sup>	789	2	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	1,664	重力式擁壁、逆T型擁壁、もたれ擁壁、補強土壁、U型擁壁
		管渠工	m	249	9	
		函渠工	m	298	591	
		排水工	m	9,713	981	
		中央分離帯工	m	1,980	102	
		雑工	式	1	477	
橋梁費					32,368	
		100m以上	m	13,235	28,018	鋼橋、PC橋、連続高架橋
		100m未満	m	923	4,350	鋼橋、PC橋
トンネル費					12,644	
		NATM	m	4,648	12,644	
		シールド	m	-	-	
IC・JCT費					4,037	
		IC	箇所	6	4,037	トランペット型、準直結Y型、ダイヤモンド型
		JCT	箇所	-	-	
舗装費					1,971	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	182,823	1,971	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	-	-	
付帯施設費					1,340	
		交通管理施設工	式	1	426	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m	8,487	914	
②用地及補償費					790	
用地費			m <sup>2</sup>	95,805	401	
		宅地	m <sup>2</sup>	1,490	82	
		田畑	m <sup>2</sup>	69,150	297	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	25,165	22	
		その他	m <sup>2</sup>	-	-	
補償費			式	1	389	
③間接経費					2,853	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					64,146	

#### 【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用



## 全事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道55号	高知東部自動車道 (高知龍馬空港IC～安芸西IC)	4、2	36.0km

## ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	36.0	10,839	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	41,662	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			52,501	

## 【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

## 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道55号	高知東部自動車道 (高知龍馬空港IC～安芸西IC)	4、2	36.0km

## ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	36.0	7,800	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	28,750	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			36,550	

## 【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

再評価結果（令和3年度事業継続箇所）（原案）

事業名	一般国道55号 <small>こうちなんこくどうろ</small> 高知南国道路		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自：高知県高知市一宮 至：高知県南国市物部				延長	15.0km
事業概要	<p>一般国道55号は、徳島市を起点に阿南市、海陽町、室戸市、安芸市などを經由し、高知市に至る延長約200kmの主要幹線道路であり、四国広域交通ネットワークを形成する基幹道路として、地域の生活や経済、観光の振興に大きな役割を果たしている。</p> <p>一般国道55号高知南国道路は、高規格幹線道路網を構成する自動車専用道路として整備される高知東部自動車道の一部であり、高知自動車道及び阿南安芸自動車道と一体で機能することにより、四国8の字ネットワークを形成し、高知県東部地域の広域交流の促進及び地域活性化に大きく寄与する道路である。</p> <p>また、南海トラフ巨大地震や津波発生時の緊急輸送道路の確保、現道の渋滞緩和、第3次医療施設への迅速な救急搬送の支援及び高知IC・高知新港・高知龍馬空港間のアクセス向上による地域産業の活性化などの支援を目的としている。</p>					
H2年度事業化	H2年度都市計画決定 (H16、21年度変更)		H4年度用地着手		H12年度工事着手	
全体事業費	1,740億円		事業進捗率 (令和2年3月末時点)	約91%	供用済延長	8.8km
計画交通量	2,200~30,800台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	1.3 (0.9)	総費用 (残事業)/(事業全体)	598/3,768億円	総便益 (残事業)/(事業全体)	1,671/4,970億円
	(残事業)	2.8 (4.3)	事業費	487/3,574億円	走行時間短縮便益	1,431/4,299億円
			維持管理費	110/193億円	走行経費減少便益	171/504億円
					交通事故減少便益	70/167億円
基準年	令和2年					
感度分析の結果	<p>(事業全体)交通量 : B/C=1.3~1.4 (交通量±10%) (残事業)交通量 : B/C=2.4~3.2 (交通量±10%)</p> <p>事業費 : B/C=1.3~1.3 (事業費±10%) 事業費 : B/C=2.6~3.0 (事業費±10%)</p> <p>事業期間 : B/C=1.3~1.3 (事業期間±20%) 事業期間 : B/C=2.7~2.9 (事業期間±20%)</p>					
事業の効果等	<p>南海トラフ巨大地震や津波発生時の緊急輸送道路の確保、現道の渋滞緩和、第3次医療施設への迅速な救急搬送の支援及び高知IC・高知新港・高知龍馬空港間のアクセス向上による地域産業の活性化など多様な効果が期待できる。</p> <p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現道等の時間損失の削減が見込まれる。</li> <li>・現道等における混雑時旅行速度の改善が見込まれる。</li> <li>・路線バス等の速達性・定時性が向上し利便性向上が期待できる。</li> <li>・JR高知駅（特急停車駅）へのアクセス向上が見込まれる。</li> <li>・高知龍馬空港（第二種空港）へのアクセス向上が見込まれる。</li> </ul> <p>②物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知港（重要港湾）へのアクセス向上が見込まれる。</li> <li>・高知県東部における農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる。</li> </ul> <p>③国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知自動車道及び阿南安芸自動車道と一体で機能し、四国8の字ネットワークの形成に寄与する。</li> <li>・隣接した日常活動圏中心都市間（安芸市と高知市）を最短時間で連絡する路線を構成する。</li> <li>・日常活動圏中心都市（高知市）へのアクセス向上が見込まれる。</li> </ul> <p>④個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「観光振興プロジェクト」、「過疎地域自立促進プロジェクト」、「ゆず振興プロジェクト」を支援。</li> <li>・高知県東部地域の観光地へのアクセス向上が見込まれる。</li> </ul> <p>⑤安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三次医療施設（高知医療センター）へのアクセス向上が見込まれる。</li> </ul> <p>⑥安全な生活環境の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺道路の交通量が減少することで安全性の向上が見込まれる。</li> </ul> <p>⑦災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路寸断で孤立化する集落の解消が見込まれる。</li> <li>・高知県地域防災計画において第一次緊急輸送道路に位置づけられている。</li> <li>・緊急輸送道路が通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線が形成される。</li> <li>・国道55号の防災点検箇所を回避したルートが形成される。</li> </ul>					

⑧地球環境の保全

- ・CO2排出量の削減が見込まれる。

⑨生活環境の改善・保全

- ・NOX排出量の削減が見込まれる。
- ・SPM排出量の削減が見込まれる。

⑩他のプロジェクトとの関係

- ・第2次南国市都市計画マスタープランの中で「交通施設の整備方針」として位置づけられている。

⑪その他

- ・「南海トラフ巨大地震」における救援ルートの信頼性向上や自衛隊救援活動ルートの確保が見込まれる。

関係する地方公共団体等の意見

- ・地域から頂いた主な意見等  
高知東部自動車道整備促進期成同盟会等より、本事業の整備促進について積極的な要望活動が続けられている。
- ・高知県知事の意見  
事業継続に異議はありません。  
四国8の字ネットワークを構成する一般国道55号高知南国道路、南国安芸道路は、高知自動車道、高知新港及び高知龍馬空港相互の連携を強化し、県東部地域における経済の活性化を図る様々な取り組みを支えるとともに、発生切迫度が高まる南海トラフ地震や、近年、激甚化・頻発化する自然災害への備えを高め、地域防災力の向上を図るうえでも大変重要な路線です。  
このため、国においては、本年度の開通予定が示されている高知南国道路の着実な整備及び南国安芸道路の早期開通に向け、より一層の事業推進をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・平成20年7月 高知自動車道（南国IC～高知IC）延長7.6km 4車線化
- ・平成22年6月 高速自動車道無料化社会実験（高知IC～須崎東IC）実施
- ・平成23年3月 高知東部自動車道（香南やすIC～芸西西IC）延長3.9km 2車線開通
- ・平成23年度 一般国道55号南国安芸道路（芸西西IC～安芸西IC）延長8.5km事業化
- ・平成23年6月 高速自動車道無料化社会実験（高知IC～須崎東IC）一時凍結
- ・平成24年度 一般国道55号安芸道路 延長5.8km事業化
- ・平成25年2月 高知東部自動車道（香南かがみIC～香南やすIC）延長2.9km 2車線開通
- ・平成26年3月 高知東部自動車道（香南のいちIC～香南かがみIC）延長2.2km 2車線開通
- ・平成27年3月 高知東部自動車道（高知南IC～なんこく南IC）延長4.7km 2車線開通
- ・平成28年4月 高知東部自動車道（なんこく南IC～高知龍馬空港IC）延長4.1km 2車線開通

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・平成2年度に事業化、用地進捗率100%、事業進捗率91%（令和2年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・早期の全線開通に向けて工事を推進する。

施設の構造や工法の変更等

- ・今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理費を考慮した構造等の採用等、総コストの縮減に努めていくこととする。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

- ・以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 費用便益分析結果の（）書きは、高知南国道路の分析結果を記入している。

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

2 高土政第517号  
令和2年9月7日

四国地方整備局長 様

高知県知事  
(公印省略)

四国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）  
の作成に係る意見照会について（回答）

令和2年8月28日付け国四整企画第11号で照会のありましたことについて、別紙  
のとおり回答します。

【道路事業】

- 一般国道 55 号 高知南国道路
- 一般国道 55 号 南国安芸道路
- 一般国道 55 号 南国安芸道路（芸西西～安芸西）

意見：事業継続に異議はありません。

四国 8 の字ネットワークを構成する一般国道 55 号高知南国道路、南国安芸道路は、高知自動車道、高知新港及び高知龍馬空港相互の連携を強化し、県東部地域における経済の活性化を図る様々な取り組みを支えるとともに、発生切迫度が高まる南海トラフ地震や、近年、激甚化・頻発化する自然災害への備えを高め、地域防災力の向上を図るうえでも大変重要な路線です。

このため、国においては、本年度の開通予定が示されている高知南国道路の着実な整備及び南国安芸道路の早期開通に向け、より一層の事業推進をお願いします。

様式一1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道55号 高知南国道路
事業主体	四国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

前提条件	指標	指標チェックの根拠
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 便益が費用を上回っている	全体・費用便益比(3便益)(B/C)=0.9(経済的純現在価値(B-C)=-339億円、経済的内部収益率(EIRR)=3.4%) 残事業：費用便益比(3便益)(B/C)=4.3(経済的純現在価値(B-C)=414億円、経済的内部収益率(EIRR)=45.0%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指標	指標(対象となる指標の記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保  物流効率化の支援	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	時間損失削減量：130万人時間/年 削減率：83.9%	指 標 チ ェ ッ ク の 根 拠
	■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	現道区間の混雑時旅行速度 18.7km/h⇒38.3km/h(国道32号)	
	<input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	—	
	■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	現道を利用する路線バス及び空港連絡バス、高速バス 高知駅前観光バス(空港連絡バス)26便/日(往復) とさでん交通(空港連絡バス、路線バス、高速バス)57便/日(往復)	
	■ 新幹線もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	JR高知駅(特急停車駅) 安芸市役所～JR高知駅 約10分短縮(72分⇒62分)	
	■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	高知龍馬空港(第二種空港) 高知JCT～高知龍馬空港 約17分短縮(30分⇒13分)	
	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	高知港(重要港湾) 安芸市役所～高知新港 約12分短縮(65分⇒53分)	
	■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	JJA土佐あき～園芸流通センター 約12分短縮(63分⇒51分)	
	<input type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくはIS0規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	—	

1. 活力

都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	-	
	<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	-	
	<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	-	
	<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である	-	
	<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	-	
	<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	-	
	<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	-	
	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	-	
	<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	-	
	<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	高規格幹線道路 高知東部自動車道の一部を構成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	安芸市役所～高知市役所 約7分短縮(76分⇒68分) ※短縮時間は表示桁数の関係で一致しない	
	<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	-	
	<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	-	
	<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	高知市役所～香南市役所 約7分短縮(44分⇒37分)	
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	-
<input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する		香南市、安芸市、室戸市：観光振興プロジェクト 北川村：ゆず振興プロジェクト 安芸市、室戸市：通称地域自立促進プロジェクト	
<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される		安芸市歴史民俗資料館、馬路温泉、毛木の歴マルモッタン、室戸岬、室戸ジオパーク等 高知JCT～毛木の歴マルモッタン 約15分短縮(96分⇒80分) ※短縮時間は表示桁数の関係で一致しない 高知JCT～安芸市歴史民俗資料館 約15分短縮(73分⇒58分)	
<input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である		-	
<input type="checkbox"/> 新規整備の公共施設へ直結する道路である		-	
<input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である		-	
2. 暮らし		<input type="checkbox"/> 歩行者・自転車のための生活空間の形成	-
		<input type="checkbox"/> 無電柱化による美しい街並みの形成	-
		<input type="checkbox"/> 安全で安心できる暮らしの確保	-
		<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	-
		<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区画及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	-
		<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	高知医療センター(第三次医療施設) 田野町役場～高知医療センター 約12分短縮(84分⇒72分)



3. 安全	<p>安全な生活環境の確保</p> <p>災害への備え</p>	<p>■ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる</p> <p>□ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は児童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される</p> <p>□ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する</p> <p>■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり</p> <p>■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する</p>	<p>高知南IC入口の交差点 983.2件/億台キロ 高知南インター線の交差点（絶海地橋付近）：600.1件/億台キロ</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>高知県地域防災計画において第一緊急輸送道路に指定</p> <p>現道である国道32号、55号が津波浸水等により通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成</p>
4. 環境	<p>地球環境の保全</p> <p>生活環境の改善・保全</p>	<p>□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）</p> <p>□ 現道等の防災点検又は震災点検対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される</p> <p>□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する</p> <p>□ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する</p> <p>□ 幅員6m以上の道路がないため消化活動が出来ない地区が解消する</p> <p>□ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす</p>	<p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>CO2 排出削減量：7 千t-CO2/年 CO2 排出削減率：4.2%</p> <p>NO2 排出削減量：28.9 t-NOX/年 NO2 排出削減率：51.2%</p> <p>SPM 排出削減量：1.7 t-SPM/年 SPM 排出削減率：53.1%</p>
5. その他	<p>他のプロジェクトとの関係</p>	<p>□ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている</p> <p>□ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり</p> <p>■ 他機関との連携プログラムに位置づけられている</p> <p>■ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる</p>	<p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>第2次南国市都市計画マスタープラン</p> <p>「南海トラフ巨大地震」における救援ルート信頼性の向上 「南海トラフ巨大地震」における自衛隊救援活動ルートの確保</p>

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道55号	高知南国道路	L = 15.0 km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
2,200~30,800	4	四国地方整備局

## ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和2年度		
単純合計	1,641億円	166億円	1,807億円
うち残事業分	96億円	126億円	222億円
基準年における 現在価値 (C)	2,420億円	78億円	2,498億円
うち残事業分	77億円	47億円	124億円

## ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和2年度			
供用年	暫定供用：平成27年度、平成28年度、令和3年度、 完成供用：令和12年度			
単年便益 (初年便益)	22億円	2.4億円	0.59億円	25億円
基準年における 現在価値 (B)	1,862億円	226億円	72億円	2,159億円
うち残事業分	481億円	38億円	20億円	539億円

③ 結果

費用便益比 (B/C)	0.9
経済的純現在価値 (B-C)	-339億円
経済的内部収益率 (EIRR)	3.4%
費用便益比 (残事業)	4.3
経済的純現在価値 (残事業)	414億円
経済的内部収益率 (残事業)	45.0%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析 (全事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	2,200~30,800	±10%	0.8~1.0
事業費	1,641億円	±10%	0.9~0.9
事業期間	40年	±20%	0.8~0.9

(残事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	2,200~30,800	±10%	3.8~5.0
事業費	96億円	±10%	4.1~4.6
事業期間	9年	±20%	4.1~4.6

交通状況の変化

【事業全体】

様式-3①

事業名：高知南国道路

(推計時点 R12年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 高知南国道路 : 15.0km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]		20,500	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]		11	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]		41.17	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	国道32号 : 4.6km	交通量	[台/日]	34,800	26,200
		走行時間	[分]	9	8
		走行時間費用	[億円/年]	55.10	34.64
	国道55号 : 4.7km	交通量	[台/日]	41,900	21,300
		走行時間	[分]	8	6
		走行時間費用	[億円/年]	63.18	22.88
	国道195号 : 7.2km	交通量	[台/日]	7,300	5,400
		走行時間	[分]	20	13
		走行時間費用	[億円/年]	28.74	13.74
	(一) 高知南国線 : 4.7km	交通量	[台/日]	23,400	20,500
		走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	35.12	29.30
	(主) 春野赤岡線 : 11.5km	交通量	[台/日]	9,500	7,100
		走行時間	[分]	26	23
		走行時間費用	[億円/年]	47.11	34.19
③その他道路合計 : 246.7km		走行時間費用	[億円/年]	406.98	369.82

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 294.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	636.23	545.74	90.49

- ※1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

【残事業】

様式-3①

業名：高知南国道路

(推計時点 R12年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 高知南国道路 : 15.0km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	19,500	20,500	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	10	11	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	34.70	41.17	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	国道32号 : 4.6km	交通量	[台/日]	30,700	26,200
		走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	44.51	34.64
	国道55号 : 4.7km	交通量	[台/日]	29,300	21,300
		走行時間	[分]	7	6
		走行時間費用	[億円/年]	34.90	22.88
	国道195号 : 7.2km	交通量	[台/日]	5,800	5,400
		走行時間	[分]	14	13
		走行時間費用	[億円/年]	14.89	13.74
	(一) 高知南国線 : 4.7km	交通量	[台/日]	21,400	20,500
		走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	31.36	29.30
	(主) 春野赤岡線 : 11.5km	交通量	[台/日]	7,300	7,100
		走行時間	[分]	23	23
		走行時間費用	[億円/年]	35.01	34.19
③その他道路合計 : 246.7km		走行時間費用	[億円/年]	386.12	369.82

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 294.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	581.49	545.74	35.75

- ※1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



# 費用便益分析の条件

事業名: 高知南国道路

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和2年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他( )	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
		その他( )	
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他( )	<input type="checkbox"/>		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量推計結果について、交通容量(Qmax)以上の路線交通容量(Qmin~Qmax) 内の路線等が混在した配分結果となっているため、便益算出においては速度差の 生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
その他( )	<input type="checkbox"/>		



(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	( ) %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日
	冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載			
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他 ( )	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

項目		チェック欄		
費用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他(既投資分は実績額、未投資分は供用年までの均等割)	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 当該区間を管轄する事務所における直轄国道維持管理費実績に基づき算出		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行 われない場合の費 用	考慮する 場合のみ	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>
			考慮する	<input type="checkbox"/>
			事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
			当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)	
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

## 費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名：高知南国道路

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)		延長(km)	単純単価(億円)
				0.28	15.0	4.26	
				事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-25年目	H 2	3.2434	113.3	0.77	2.26		
-24年目	H 3	3.1187	116.0	4.85	13.42		
-23年目	H 4	2.9987	117.6	7.36	19.28		
-22年目	H 5	2.8834	117.9	17.93	45.09		
-21年目	H 6	2.7725	117.8	13.13	31.76		
-20年目	H 7	2.6658	117.1	21.94	51.34		
-19年目	H 8	2.5633	116.6	43.83	99.06		
-18年目	H 9	2.4647	117.5	35.12	75.74		
-17年目	H 10	2.3699	116.9	68.26	142.27		
-16年目	H 11	2.2788	115.2	77.43	157.46		
-15年目	H 12	2.1911	113.8	46.77	92.56		
-14年目	H 13	2.1068	112.4	57.82	111.41		
-13年目	H 14	2.0258	110.5	43.39	81.77		
-12年目	H 15	1.9479	109.0	46.80	85.98		
-11年目	H 16	1.8730	107.9	42.19	75.29		
-10年目	H 17	1.8009	106.7	42.13	73.10		
-9年目	H 18	1.7317	105.9	37.55	63.12		
-8年目	H 19	1.6651	105.0	21.07	34.35		
-7年目	H 20	1.6010	104.4	30.14	47.51		
-6年目	H 21	1.5395	103.0	41.83	64.27		
-5年目	H 22	1.4802	101.3	22.90	34.39		
-4年目	H 23	1.4233	99.8	33.45	49.04		
-3年目	H 24	1.3686	99.0	76.73	109.05		
-2年目	H 25	1.3159	99.0	66.96	91.49		
-1年目	H 26	1.2653	101.5	76.01	97.41		
暫定供用①開始年次	H 27	1.2167	103.0	50.66	61.51	0.77	0.93
暫定供用②開始年次	H 28	1.1699	102.8	114.27	133.69	1.44	1.69
2年目	H 29	1.1249	102.9	118.77	133.48	1.44	1.62
3年目	H 30	1.0816	102.8	115.42	124.83	1.44	1.56
4年目	R 1	1.0400	102.8	114.73	119.32	1.44	1.49
5年目	R 2	1.0000	102.8	55.00	55.00	1.44	1.44
暫定供用③開始年次	R 3	0.9615	102.8	5.75	5.52	2.45	2.35
7年目	R 4	0.9246	102.8	0.25	0.23	2.45	2.26
8年目	R 5	0.8890	102.8	0.01	0.01	2.45	2.17
9年目	R 6	0.8548	102.8	19.56	16.72	2.45	2.09
10年目	R 7	0.8219	102.8	19.55	16.07	2.45	2.01
11年目	R 8	0.7903	102.8	15.01	11.86	2.45	1.93
12年目	R 9	0.7599	102.8	15.01	11.41	2.45	1.86
13年目	R 10	0.7307	102.8	15.01	10.97	2.45	1.79
14年目	R 11	0.7026	102.8	5.92	4.16	2.45	1.72
完成供用開始年次	R 12	0.6756	102.8			3.87	2.62
16年目	R 13	0.6496	102.8			3.87	2.52
17年目	R 14	0.6246	102.8			3.87	2.42
18年目	R 15	0.6006	102.8			3.87	2.33
19年目	R 16	0.5775	102.8			3.87	2.24
20年目	R 17	0.5553	102.8			3.87	2.15
21年目	R 18	0.5339	102.8			3.87	2.07
22年目	R 19	0.5134	102.8			3.87	1.99
23年目	R 20	0.4936	102.8			3.87	1.91
24年目	R 21	0.4746	102.8			3.87	1.84
25年目	R 22	0.4564	102.8			3.87	1.77
26年目	R 23	0.4388	102.8			3.87	1.70
27年目	R 24	0.4220	102.8			3.87	1.63
28年目	R 25	0.4057	102.8			3.87	1.57
29年目	R 26	0.3901	102.8			3.87	1.51
30年目	R 27	0.3751	102.8			3.87	1.45
31年目	R 28	0.3607	102.8			3.87	1.40
32年目	R 29	0.3468	102.8			3.87	1.34
33年目	R 30	0.3335	102.8			3.87	1.29
34年目	R 31	0.3207	102.8			3.87	1.24
35年目	R 32	0.3083	102.8			3.87	1.19
36年目	R 33	0.2965	102.8			3.87	1.15
37年目	R 34	0.2851	102.8			3.87	1.10
38年目	R 35	0.2741	102.8			3.87	1.06
39年目	R 36	0.2636	102.8			3.87	1.02
40年目	R 37	0.2534	102.8			3.87	0.98
41年目	R 38	0.2437	102.8			3.87	0.94
42年目	R 39	0.2343	102.8			3.87	0.91
43年目	R 40	0.2253	102.8			3.87	0.87
44年目	R 41	0.2166	102.8			3.87	0.84
45年目	R 42	0.2083	102.8			3.87	0.81
46年目	R 43	0.2003	102.8			3.87	0.78
47年目	R 44	0.1926	102.8			3.87	0.75

48年目	R 45	0.1852	102.8			3.87	0.72
49年目	R 46	0.1780	102.8	-186.01	-33.11	3.87	0.69
合計				1,455.27	2,420.09	165.53	77.71
単純事業費計				1,641.27		165.53	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

## 費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名：高知南国道路

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
暫定供用③開始年次	R 3	0.9615	102.8	5.75	5.52	1.03	0.99
1年目	R 4	0.9246	102.8	0.25	0.23	1.03	0.95
2年目	R 5	0.8890	102.8	0.01	0.01	1.03	0.91
3年目	R 6	0.8548	102.8	19.56	16.72	1.03	0.88
4年目	R 7	0.8219	102.8	19.55	16.07	1.03	0.84
5年目	R 8	0.7903	102.8	15.01	11.86	1.03	0.81
6年目	R 9	0.7599	102.8	15.01	11.41	1.03	0.78
7年目	R 10	0.7307	102.8	15.01	10.97	1.03	0.75
8年目	R 11	0.7026	102.8	5.92	4.16	1.03	0.72
完成供用開始年次	R 12	0.6756	102.8			2.84	1.92
10年目	R 13	0.6496	102.8			2.84	1.84
11年目	R 14	0.6246	102.8			2.84	1.77
12年目	R 15	0.6006	102.8			2.84	1.70
13年目	R 16	0.5775	102.8			2.84	1.64
14年目	R 17	0.5553	102.8			2.84	1.58
15年目	R 18	0.5339	102.8			2.84	1.51
16年目	R 19	0.5134	102.8			2.84	1.46
17年目	R 20	0.4936	102.8			2.84	1.40
18年目	R 21	0.4746	102.8			2.84	1.35
19年目	R 22	0.4564	102.8			2.84	1.29
20年目	R 23	0.4388	102.8			2.84	1.24
21年目	R 24	0.4220	102.8			2.84	1.20
22年目	R 25	0.4057	102.8			2.84	1.15
23年目	R 26	0.3901	102.8			2.84	1.11
24年目	R 27	0.3751	102.8			2.84	1.06
25年目	R 28	0.3607	102.8			2.84	1.02
26年目	R 29	0.3468	102.8			2.84	0.98
27年目	R 30	0.3335	102.8			2.84	0.95
28年目	R 31	0.3207	102.8			2.84	0.91
29年目	R 32	0.3083	102.8			2.84	0.87
30年目	R 33	0.2965	102.8			2.84	0.84
31年目	R 34	0.2851	102.8			2.84	0.81
32年目	R 35	0.2741	102.8			2.84	0.78
33年目	R 36	0.2636	102.8			2.84	0.75
34年目	R 37	0.2534	102.8			2.84	0.72
35年目	R 38	0.2437	102.8			2.84	0.69
36年目	R 39	0.2343	102.8			2.84	0.66
37年目	R 40	0.2253	102.8			2.84	0.64
38年目	R 41	0.2166	102.8			2.84	0.61
39年目	R 42	0.2083	102.8			2.84	0.59
40年目	R 43	0.2003	102.8			2.84	0.57
41年目	R 44	0.1926	102.8			2.84	0.55
42年目	R 45	0.1852	102.8			2.84	0.53
43年目	R 46	0.1780	102.8			2.84	0.50
44年目	R 47	0.1712	102.8			2.84	0.49
45年目	R 48	0.1646	102.8			2.84	0.47
46年目	R 49	0.1583	102.8			2.84	0.45
47年目	R 50	0.1522	102.8			2.84	0.43
48年目	R 51	0.1463	102.8			2.84	0.41
49年目	R 52	0.1407	102.8	0.00	0.00	2.84	0.40
合計				96.06	76.95	125.54	47.47
				96.06		125.54	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。





## 参考様式-1

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道55号	高知南国道路	4	15.0km

### ■事業費内訳 (全体事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					129,096	
改良費					8,977	
		土工	m <sup>3</sup>	1,429,524	1,304	切土(376,901m <sup>3</sup> )、盛土(892,306m <sup>3</sup> )、捨土(160,317m <sup>3</sup> )
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>			
		法面工	m <sup>2</sup>	111,470	1,603	切土法面、法面对策、落石対策
		擁壁工	式	1	2,765	重力式擁壁、逆T型擁壁、もたれ擁壁、補強土壁、U型擁壁
		管渠工	m	1,285	88	
		函渠工	m	941	775	
		排水工	m	37,004	1,270	
		中央分離帯工	m	6,295	385	
		雑工	式	1	787	側道舗装、山道付替コンクリート舗装、県道切替等
橋梁費					104,768	
		100m以上	m	14,879	102,911	鋼橋2橋、PC橋9橋、鋼橋+PC橋5橋
		100m未満	m	401	1,857	鋼橋1橋、PC橋3橋
トンネル費					5,722	
		NATM	m	1,588	5,722	2本(上下線)
		シールド	m	-	-	
IC・JCT費					8,315	
		IC	箇所	4	8,315	トランペット型フルランプ型式(1)、準直結Y型フルランプ型式(2)、ダイヤモンド型フルランプ型式(1)
		JCT	箇所			
舗装費					1,029	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	74,020	1,029	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	-	-	
付帯施設費					284	
		交通管理施設工	式	1	284	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m	-	-	
②用地及補償費					30,004	
用地費			m <sup>2</sup>	748,873	18,601	
		宅地	m <sup>2</sup>	76,848	8,651	
		田畑	m <sup>2</sup>	388,041	9,058	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	283,984	892	
		その他	m <sup>2</sup>	-	-	
補償費			式	1	11,403	
③間接経費					14,900	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					174,000	

#### 【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用



参考様式-1

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道55号	高知南国道路	4	15.0km

■事業費内訳 (残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				10,167	
	改良費				178	
		土工	m <sup>3</sup>	5,481	5	
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>			
		法面工	m <sup>2</sup>	789	2	
		擁壁工	式	1	100	重力式擁壁、逆T型擁壁、もたれ擁壁、補強土壁、U型擁壁
		管渠工	m	15	1	
		函渠工	m	0	0	
		排水工	m	466	16	
		中央分離帯工	m	65	4	
		雑工	式	1	50	側道舗装、山道付替コンクリート舗装、県道切替等
	橋梁費				8,148	
		100m以上	m	8,834	8,048	
		100m未満	m	111	100	
	トンネル費				1,637	
		NATM	m	1,499	1,637	
		シールド	m	—		
	IC・JCT費				64	
		IC	箇所	2	64	
		JCT	箇所			
	舗装費				100	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	27,680	100	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	—		
	付帯施設費				40	
		交通管理施設工	式	1	40	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m	—		
②	用地及補償費				0	
	用地費		m <sup>2</sup>	0	0	
		宅地	m <sup>2</sup>	0	0	
		田畑	m <sup>2</sup>	0	0	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	0	0	
		その他	m <sup>2</sup>			
	補償費		式	0	0	
③	間接経費		式	1	400	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				10,567	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

## 全事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道55号	高知南国道路	4	15.0km

## ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	15.0	2,410	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	15,788	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			18,198	

## 【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

## 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道55号	高知南国道路	4	15.0km

## ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	15.0	2,289	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	11,520	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			13,809	

## 【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

再評価結果（令和3年度事業継続箇所）（原案）

事業名	一般国道55号 <small>なんこくあまきどうろ</small> 南国安芸道路		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自：高知県南国市物部 <small>なんこくしものべ</small> 至：高知県安芸郡芸西村西分 <small>あまきぐんげいせいむらにしぶん</small>				延長	12.5km
事業概要	<p>一般国道55号は、徳島市を起点に阿南市、海陽町、室戸市、安芸市などを經由し、高知市に至る延長約200kmの主要幹線道路であり、四国広域交通ネットワークを形成する基幹道路として、地域の生活や経済、観光の振興に大きな役割を果たしている。</p> <p>一般国道55号南国安芸道路は、高規格幹線道路網を構成する自動車専用道路として整備される高知東部自動車道の一部であり、高知自動車道及び阿南安芸自動車道と一体で機能することにより、四国8の字ネットワークを形成し、高知県東部地域の広域交流の促進及び地域活性化に大きく寄与する道路である。</p> <p>また、南海トラフ巨大地震や津波発生時の緊急輸送道路の確保、地域産業（観光振興）の支援、第3次医療施設への迅速な救急搬送の支援などを目的としている。</p>					
H12年度事業化	H11年度都市計画決定 (H21年度変更)		H14年度用地着手		H15年度工事着手	
全体事業費	654億円		事業進捗率	約72%	供用済延長	9.0km
			(令和2年3月末時点)			
計画交通量	17,800~26,500台/日					
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	(残事業)/ 事業全体	総便益	(残事業)/ 事業全体	基準年
	(事業全体)	1.3	598/3,768億円	1,671/4,970億円		令和2年
	(事業全体)	(2.8)	事業費：487/3,574億円	走行時間短縮便益：1,431/4,299億円		
	(残事業)	2.8	維持管理費：110/193億円	走行経費減少便益：171/504億円		
	(残事業)	(2.8)		交通事故減少便益：70/167億円		
感度分析の結果	<p>(事業全体)交通量：B/C=1.3~1.4（交通量±10%） (残事業)交通量：B/C=2.4~3.2（交通量±10%）</p> <p>事業費：B/C=1.3~1.3（事業費±10%） 事業費：B/C=2.6~3.0（事業費±10%）</p> <p>事業期間：B/C=1.3~1.3（事業期間±20%） 事業期間：B/C=2.7~2.9（事業期間±20%）</p>					
事業の効果等	<p>南海トラフ巨大地震や津波発生時の緊急輸送道路の確保、現道の渋滞緩和、第3次医療施設への迅速な救急搬送の支援及び高知IC・高知新港・高知龍馬空港間のアクセス向上による地域産業の活性化など多様な効果が期待できる。</p> <p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現道等の時間損失の削減が見込まれる。</li> <li>・現道等における混雑時旅行速度の改善が見込まれる。</li> <li>・路線バス等の速達性・定時性が向上し利便性向上が期待できる。</li> <li>・JR高知駅（特急停車駅）へのアクセス向上が見込まれる。</li> <li>・高知龍馬空港（第二種空港）へのアクセス向上が見込まれる。</li> </ul> <p>②物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知港（重要港湾）へのアクセス向上が見込まれる。</li> <li>・高知県東部における農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる。</li> </ul> <p>③国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知自動車道及び阿南安芸自動車道と一体で機能し、四国8の字ネットワークの形成に寄与する。</li> <li>・隣接した日常活動圏中心都市間（安芸市と高知市）を最短時間で連絡する路線を構成する。</li> <li>・日常活動圏中心都市（高知市）へのアクセス向上が見込まれる。</li> </ul> <p>④個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「観光振興プロジェクト」、「過疎地域自立促進プロジェクト」、「ゆず振興プロジェクト」を支援。</li> <li>・高知県東部地域の観光地へのアクセス向上が見込まれる。</li> </ul> <p>⑤安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三次医療施設（高知医療センター）へのアクセス向上が見込まれる。</li> </ul> <p>⑥安全な生活環境の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺道路の交通量が減少することで安全性の向上が見込まれる。</li> </ul> <p>⑦災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路寸断で孤立化する集落の解消が見込まれる。</li> <li>・高知県地域防災計画において第一次緊急輸送道路に位置づけられている。</li> <li>・緊急輸送道路が通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線が形成される。</li> <li>・国道55号の防災点検箇所を回避したルートが形成される。</li> </ul> <p>⑧地球環境の保全</p>					

- ・CO2排出量の削減が見込まれる。
- ⑨生活環境の改善・保全
  - ・NOX排出量の削減が見込まれる。
  - ・SPM排出量の削減が見込まれる。
- ⑩他のプロジェクトとの関係
  - ・第2次南国市都市計画マスタープランの中で「交通施設の整備方針」として位置づけられている。
- ⑪その他
  - ・「南海トラフ巨大地震」における救援ルートの信頼性向上や自衛隊救援活動ルートの確保が見込まれる。

関係する地方公共団体等の意見

- ・地域から頂いた主な意見等  
高知東部自動車道整備促進期成同盟会等より、本事業の整備促進について積極的な要望活動が続けられている。
- ・高知県知事の意見  
事業継続に異議はありません。  
四国8の字ネットワークを構成する一般国道55号高知南国道路、南国安芸道路は、高知自動車道、高知新港及び高知龍馬空港相互の連携を強化し、県東部地域における経済の活性化を図る様々な取り組みを支えるとともに、発生切迫度が高まる南海トラフ地震や、近年、激甚化・頻発化する自然災害への備えを高め、地域防災力の向上を図るうえでも大変重要な路線です。  
このため、国においては、本年度の開通予定が示されている高知南国道路の着実な整備及び南国安芸道路の早期開通に向け、より一層の事業推進をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・平成20年7月 高知自動車道（南国IC～高知IC）延長7.6km 4車線化
- ・平成22年6月 高速自動車道無料化社会実験（高知IC～須崎東IC）実施
- ・平成23年3月 高知東部自動車道（香南やすIC～芸西西IC）延長3.9km 2車線開通
- ・平成23年度 一般国道55号南国安芸道路（芸西西IC～安芸西IC）延長8.5km事業化
- ・平成23年6月 高速自動車道無料化社会実験（高知IC～須崎東IC）一時凍結
- ・平成24年度 一般国道55号安芸道路 延長5.8km事業化
- ・平成25年2月 高知東部自動車道（香南かがみIC～香南やすIC）延長2.9km 2車線開通
- ・平成26年3月 高知東部自動車道（香南のいちIC～香南かがみIC）延長2.2km 2車線開通
- ・平成27年3月 高知東部自動車道（高知南IC～なんこく南IC）延長4.7km 2車線開通
- ・平成28年4月 高知東部自動車道（なんこく南IC～高知龍馬空港IC）延長4.1km 2車線開通

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・平成12年度に事業化、用地進捗率100%、事業進捗率72%（令和2年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・早期の全線開通に向けて工事を推進する。

施設の構造や工法の変更等

- ・今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理費を考慮した構造等の採用等、総コストの縮減に努めていくこととする。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

- ・以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



- ※ 費用便益分析結果の（）書きは、南国安芸道路の分析結果を記入している。
- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

2 高土政第517号  
令和2年9月7日

四国地方整備局長 様

高知県知事  
(公印省略)

四国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）  
の作成に係る意見照会について（回答）

令和2年8月28日付け国四整企画第11号で照会のありましたことについて、別紙  
のとおり回答します。

【道路事業】

- 一般国道 55 号 高知南国道路
- 一般国道 55 号 南国安芸道路
- 一般国道 55 号 南国安芸道路（芸西西～安芸西）

意見：事業継続に異議はありません。

四国 8 の字ネットワークを構成する一般国道 55 号高知南国道路、南国安芸道路は、高知自動車道、高知新港及び高知龍馬空港相互の連携を強化し、県東部地域における経済の活性化を図る様々な取り組みを支えるとともに、発生切迫度が高まる南海トラフ地震や、近年、激甚化・頻発化する自然災害への備えを高め、地域防災力の向上を図るうえでも大変重要な路線です。

このため、国においては、本年度の開通予定が示されている高知南国道路の着実な整備及び南国安芸道路の早期開通に向け、より一層の事業推進をお願いします。

様式一1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道55号 南国安芸道路
事業主体	四国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

前提条件	指標	指標チェックの根拠
事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 便益が費用を上回っている	全体：費用便益比(B/C)=2.8(経済的純現在価値(B-C)=1.507億円、経済的内部収益率(EIRR)=12.5%) 残事業：費用便益比(B/C)=2.8(経済的純現在価値(B-C)=321億円、経済的内部収益率(EIRR)=14.2%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指標	指標(対象となる指標の記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率		時間損失削減量：245万人時間/年 削減率：98.7%
	<input type="checkbox"/> 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される		—
	<input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される		—
	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する		現道を利用する路線バス及び高速バスとさでん交通(路線バス、高速バス)13便/日(往復)
	<input checked="" type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる		JR高知駅(特急停車駅) 約14分短縮(71分⇒58分) ※短縮時間は表示桁数の関係で一致しない 安芸市役所～JR高知駅 約13分短縮(46分⇒33分)
	<input checked="" type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる		高知龍馬空港(第二種空港) 安芸市役所～高知龍馬空港 約13分短縮(46分⇒33分)
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる		高知港(重要港湾) 安芸市役所～高知新港 約14分短縮(59分⇒45分)
	<input checked="" type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上		JJA土佐あき～園芸流通センター 約14分短縮(58分⇒44分)
	<input type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくはIS0規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する		—
	物流効率化の支援		



1. 活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である <input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する <input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり <input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である <input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である <input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する <input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる <input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り <input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり <input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する <input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する <input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する <input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する <input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される <input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である <input type="checkbox"/> 新規整備の公共施設へ直結する道路である <input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	<p>高知市役所～高知市役所 約14分短縮 (75分⇒61分)</p> <p>高規格幹線道路 高知東部自動車道の一部を構成</p> <p>高知市役所～香南市夜須支所 (旧夜須町) 約7分短縮 (46分⇒39分) ※短縮時間は表示桁数の関係で一致しない</p> <p>香南市、安芸市、室戸市：観光振興プロジェクト  北川村：ゆず振興プロジェクト  安芸市、室戸市：通称地域自立促進プロジェクト  安芸市歴史民俗資料館、馬路温泉、毛木の歴マルモッタ、室戸岬、室戸ジオパーク 等  高知JCT～毛木の歴マルモッタ 約14分短縮 (95分⇒81分)  高知JCT～安芸市歴史民俗資料館 約14分短縮 (72分⇒59分) ※短縮時間は表示桁数の関係で一致しない</p>
	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区 (歴史的風土特別保存区画及び重要伝統的建造物保存地区) の幹線道路において新たに無電柱化を達成する <input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	<p>高知医療センター (第三次医療施設)  田野町役場～高知医療センター 約14分短縮 (78分⇒64分)</p>
2. 暮らし	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 歩行者・自転車のための生活空間の形成 <input type="checkbox"/> 無電柱化による美しい街並みの形成	<p>自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上に該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる</p> <p>交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある。または、交通バリアフリー法に基づき重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される</p>
	安全で安心できる暮らしの確保		

3. 安全	<p>安全な生活環境の確保</p> <p>災害への備え</p>	<p>□ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる</p> <p>□ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は児童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される</p> <p>■ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する</p> <p>■ 対象区間が、都道府県域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり</p> <p>■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する</p>	<p>—</p> <p>—</p> <p>芸西村（人口：約4千人）</p> <p>高知県地域防災計画において第一次緊急輸送道路に指定</p> <p>現道である国道55号が津波浸水等により通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成</p>
4. 環境	<p>地球環境の保全</p> <p>生活環境の改善・保全</p>	<p>□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）</p> <p>■ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される</p> <p>□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する</p> <p>□ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する</p> <p>□ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する</p> <p>□ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす</p>	<p>—</p> <p>防災点検箇所 カルテ対応箇所（防災ランク2）：1箇所</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>CO2 排出削減量：6千t-CO2/年 CO2 排出削減率：5.3%</p> <p>NO2 排出削減量：55.0 t-NOX/年 NO2 排出削減率：86.5%</p> <p>SPM 排出削減量：3.2 t-SPM/年 SPM 排出削減率：88.2%</p>
5. その他	<p>他のプロジェクトとの関係</p>	<p>□ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている</p> <p>□ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり</p> <p>■ 他機関との連携プログラムに位置づけられている</p> <p>■ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる</p>	<p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>第2次南国市都市計画マスタープラン</p> <p>「南海トラフ巨大地震」における救援ルート信頼性の向上 「南海トラフ巨大地震」における自衛隊救援活動ルートの確保</p>

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道55号	南国安芸道路	L=12.5km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
17,800~26,500	4	四国地方整備局

## ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和2年度		
単純合計	613億円	122億円	736億円
うち残事業分	179億円	91億円	270億円
基準年における 現在価値(C)	775億円	65億円	840億円
うち残事業分	148億円	31億円	179億円

## ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和2年度			
供用年	暫定供用：平成23年度、平成25年度、平成26年度、令和7年度、 完成供用：令和12年度			
単年便益 (初年便益)	29億円	2.0億円	0.66億円	31億円
基準年における 現在価値(B)	2,023億円	233億円	85億円	2,341億円
うち残事業分	422億円	52億円	26億円	500億円

③ 結果

費用便益比 (B/C)	2.8
経済的純現在価値 (B-C)	1,501億円
経済的内部収益率 (EIRR)	12.5%
費用便益比 (残事業)	2.8
経済的純現在価値 (残事業)	321億円
経済的内部収益率 (残事業)	14.2%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析 (全事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	17,800~26,500	±10%	2.4~3.2
事業費	613億円	±10%	2.7~2.8
事業期間	31年	±20%	2.7~2.8

(残事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	17,800~26,500	±10%	2.4~3.2
事業費	179億円	±10%	2.6~3.0
事業期間	9年	±20%	2.6~3.0

交通状況の変化

【事業全体】

様式-3①

事業名：南国安芸道路

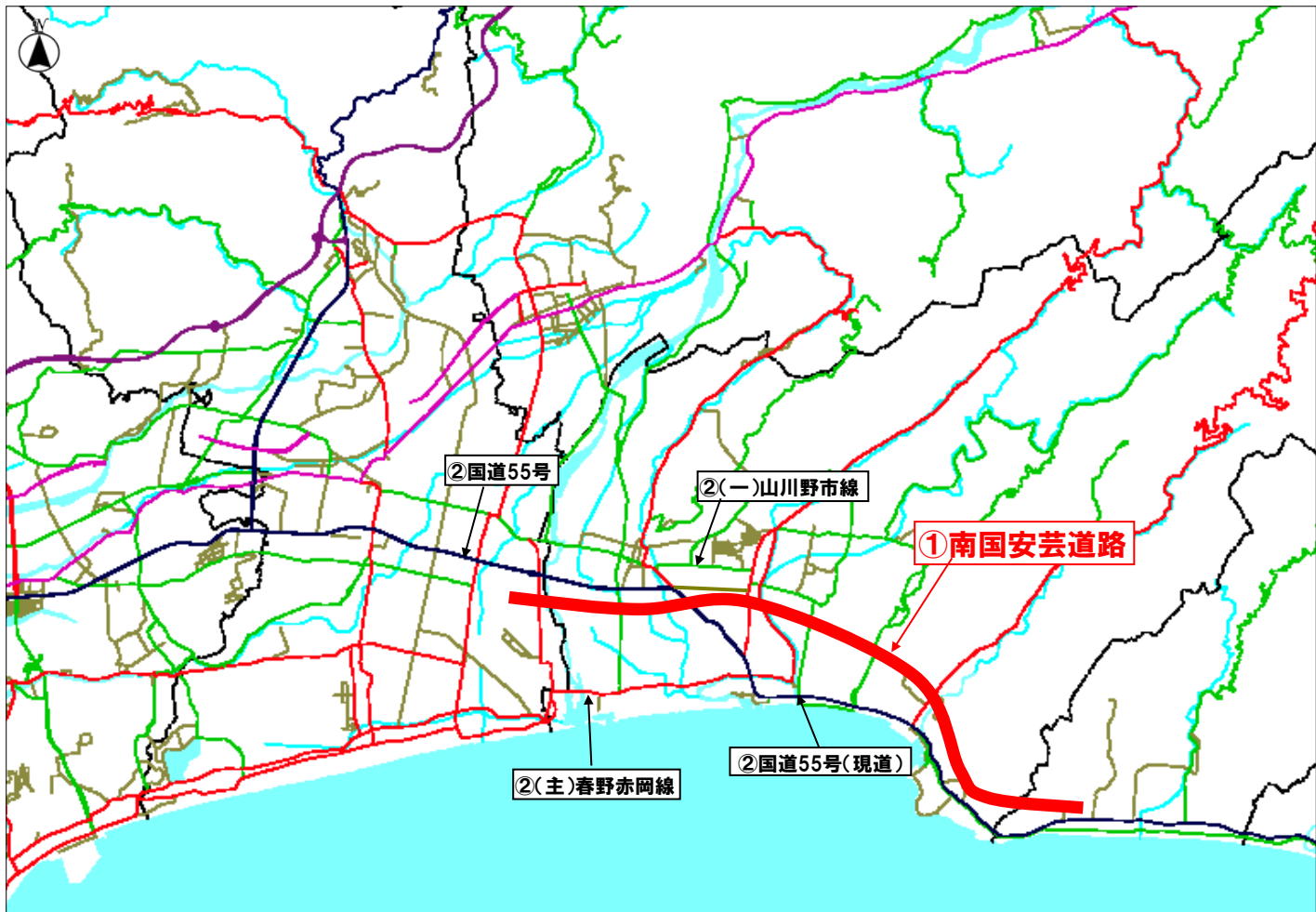
(推計時点 R12年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 南国安芸道路 : 12.5km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]		21,900	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]		9	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]		37.00	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	国道55号 (現道) : 13.1km	交通量	[台/日]	24,500	5,900
		走行時間	[分]	31	17
		走行時間費用	[億円/年]	126.27	17.10
	国道55号 : 5.8km	交通量	[台/日]	26,900	21,900
		走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	40.18	30.87
	(主) 春 野赤岡線 : 3.6km	交通量	[台/日]	6,400	2,300
		走行時間	[分]	7	6
		走行時間費用	[億円/年]	7.68	2.57
	(一) 山 川野市線 : 1.1km	交通量	[台/日]	4,900	4,200
		走行時間	[分]	4	5
		走行時間費用	[億円/年]	3.74	3.43
③その他道路合計 : 169.7km	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]	235.91	238.41	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 205.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	413.78	329.38	84.40

- ※1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

【残事業】

様式-3①

業名：南国安芸道路

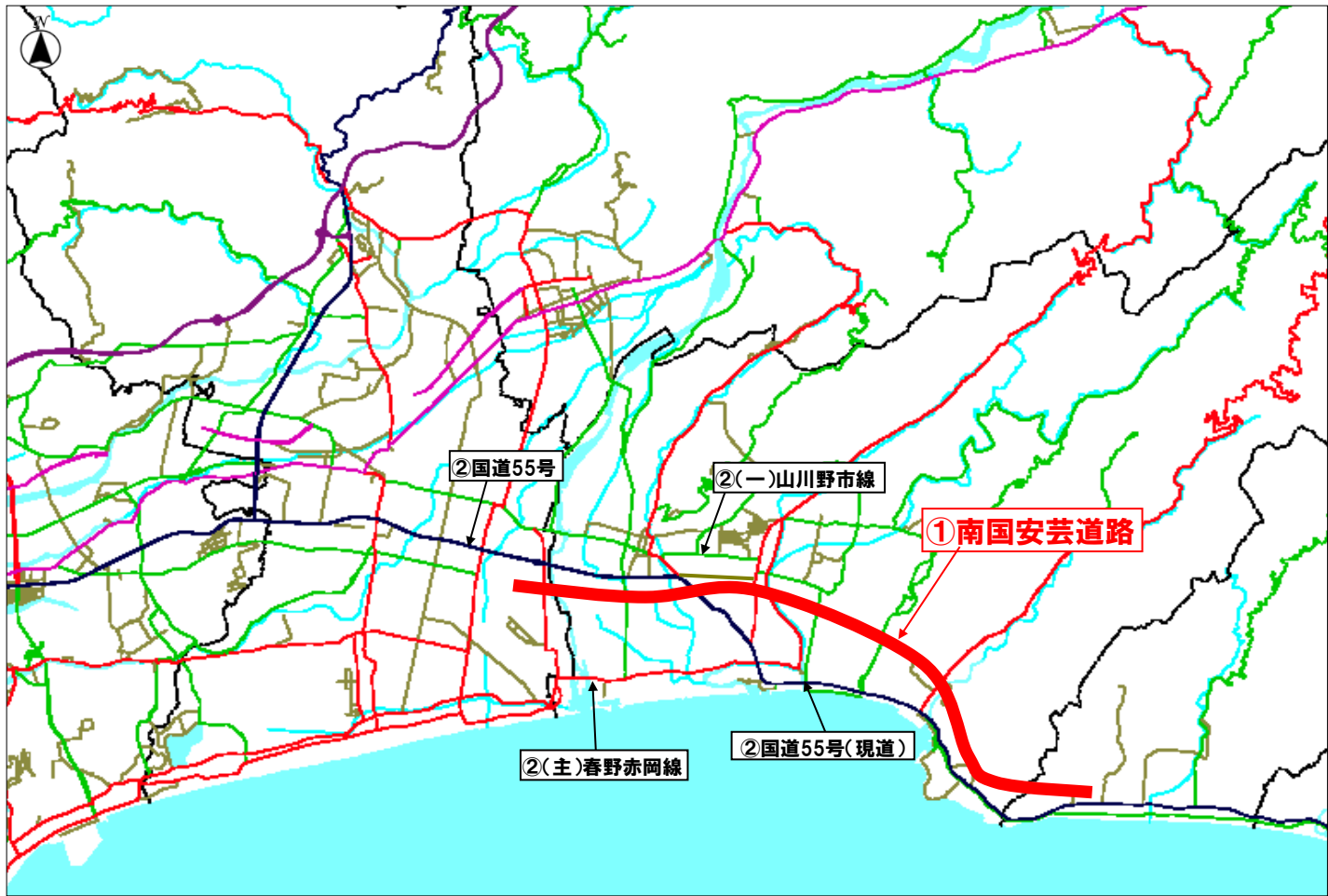
(推計時点 R12年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 南国安芸道路 : 12.5km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	16,600	21,900	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	10	9	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	29.49	37.00	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	国道55号 (現道) : 13.1km	交通量	[台/日]	13,900	5,900
		走行時間	[分]	18	17
		走行時間費用	[億円/年]	45.70	17.10
	国道55号 : 5.8km	交通量	[台/日]	27,000	21,900
		走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	40.36	30.87
	(主) 春 野赤岡線 : 3.6km	交通量	[台/日]	4,300	2,300
		走行時間	[分]	6	6
		走行時間費用	[億円/年]	4.92	2.57
	(一) 山 川野市線 : 1.1km	交通量	[台/日]	4,800	4,200
		走行時間	[分]	4	5
		走行時間費用	[億円/年]	3.66	3.43
③その他道路合計 : 169.7km	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]	234.47	238.41	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 205.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	358.60	329.38	29.22

- ※1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。
- ※5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)





# 費用便益分析の条件

事業名: 南国安芸道路

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和2年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他( )	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
		その他( )	
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他( )		<input type="checkbox"/>	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量推計結果について、交通容量(Qmax)以上の路線交通容量(Qmin~Qmax) 内の路線等が混在した配分結果となっているため、便益算出においては速度差の 生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
その他( )		<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	( ) %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日
	冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載			
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他 ( )	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

項目		チェック欄		
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他(既投資分は実績額、未投資分は供用年までの均等割)	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 当該区間を管轄する事務所における直轄国道維持管理費実績に基づき算出		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮する場合のみ	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>
			考慮する	<input type="checkbox"/>
			事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
			当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)	
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

## 費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名：南国安芸道路

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				0.27	12.5	3.32	
-12年目	H 11	2.2788	115.2	0.95	1.94		
-11年目	H 12	2.1911	113.8	0.95	1.89		
-10年目	H 13	2.1068	112.4	3.81	7.34		
-9年目	H 14	2.0258	110.5	2.43	4.58		
-8年目	H 15	1.9479	109.0	3.52	6.47		
-7年目	H 16	1.8730	107.9	8.37	14.93		
-6年目	H 17	1.8009	106.7	23.51	40.78		
-5年目	H 18	1.7317	105.9	40.11	67.42		
-4年目	H 19	1.6651	105.0	44.20	72.06		
-3年目	H 20	1.6010	104.4	30.59	48.23		
-2年目	H 21	1.5395	103.0	24.28	37.31		
-1年目	H 22	1.4802	101.3	42.41	63.70		
暫定供用①開始年次	H 23	1.4233	99.8	38.60	56.59	0.64	0.94
1年目	H 24	1.3686	99.0	41.91	59.57	0.64	0.91
暫定供用②開始年次	H 25	1.3159	99.0	36.07	49.28	1.11	1.52
暫定供用③開始年次	H 26	1.2653	101.5	12.44	15.95	1.47	1.89
4年目	H 27	1.2167	103.0	11.73	14.25	1.47	1.79
5年目	H 28	1.1699	102.8	9.85	11.53	1.47	1.72
6年目	H 29	1.1249	102.9	13.18	14.81	1.47	1.65
7年目	H 30	1.0816	102.8	10.16	10.99	1.47	1.59
8年目	R 1	1.0400	102.8	11.92	12.40	1.47	1.53
9年目	R 2	1.0000	102.8	23.64	23.64	1.47	1.47
10年目	R 3	0.9615	102.8	30.97	29.78	1.47	1.42
11年目	R 4	0.9246	102.8	21.19	19.59	1.47	1.36
12年目	R 5	0.8890	102.8	10.27	9.13	1.47	1.31
13年目	R 6	0.8548	102.8	7.43	6.35	1.47	1.26
暫定供用④開始年次	R 7	0.8219	102.8	21.80	17.92	2.05	1.68
15年目	R 8	0.7903	102.8	21.80	17.23	2.05	1.62
16年目	R 9	0.7599	102.8	21.79	16.56	2.05	1.55
17年目	R 10	0.7307	102.8	21.79	15.92	2.05	1.49
18年目	R 11	0.7026	102.8	21.79	15.31	2.05	1.44
完成供用開始年次	R 12	0.6756	102.8			3.02	2.04
20年目	R 13	0.6496	102.8			3.02	1.96
21年目	R 14	0.6246	102.8			3.02	1.89
22年目	R 15	0.6006	102.8			3.02	1.81
23年目	R 16	0.5775	102.8			3.02	1.74
24年目	R 17	0.5553	102.8			3.02	1.68
25年目	R 18	0.5339	102.8			3.02	1.61
26年目	R 19	0.5134	102.8			3.02	1.55
27年目	R 20	0.4936	102.8			3.02	1.49
28年目	R 21	0.4746	102.8			3.02	1.43
29年目	R 22	0.4564	102.8			3.02	1.38
30年目	R 23	0.4388	102.8			3.02	1.32
31年目	R 24	0.4220	102.8			3.02	1.27
32年目	R 25	0.4057	102.8			3.02	1.22
33年目	R 26	0.3901	102.8			3.02	1.18
34年目	R 27	0.3751	102.8			3.02	1.13
35年目	R 28	0.3607	102.8			3.02	1.09
36年目	R 29	0.3468	102.8			3.02	1.05
37年目	R 30	0.3335	102.8			3.02	1.01
38年目	R 31	0.3207	102.8			3.02	0.97
39年目	R 32	0.3083	102.8			3.02	0.93
40年目	R 33	0.2965	102.8			3.02	0.89
41年目	R 34	0.2851	102.8			3.02	0.86
42年目	R 35	0.2741	102.8			3.02	0.83
43年目	R 36	0.2636	102.8			3.02	0.80
44年目	R 37	0.2534	102.8			3.02	0.76
45年目	R 38	0.2437	102.8			3.02	0.74
46年目	R 39	0.2343	102.8			3.02	0.71
47年目	R 40	0.2253	102.8			3.02	0.68
48年目	R 41	0.2166	102.8			3.02	0.65
49年目	R 42	0.2083	102.8	-42.16	-8.78	3.02	0.63
合計				571.32	774.67	122.38	65.44
単純事業費計				613.48		122.38	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

# 費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名：南国芸芸道路

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				0.17	12.5	2.16	
-4年目	R 3	0.9615	102.8	30.97	29.78		
-3年目	R 4	0.9246	102.8	21.19	19.59		
-2年目	R 5	0.8890	102.8	10.27	9.13		
-1年目	R 6	0.8548	102.8	7.43	6.35		
暫定供用④開始年次	R 7	0.8219	102.8	21.80	17.92	0.57	0.47
1年目	R 8	0.7903	102.8	21.80	17.23	0.57	0.45
2年目	R 9	0.7599	102.8	21.79	16.56	0.57	0.44
3年目	R 10	0.7307	102.8	21.79	15.92	0.57	0.42
4年目	R 11	0.7026	102.8	21.79	15.31	0.57	0.40
完成供用開始年次	R 12	0.6756	102.8			1.96	1.33
6年目	R 13	0.6496	102.8			1.96	1.28
7年目	R 14	0.6246	102.8			1.96	1.23
8年目	R 15	0.6006	102.8			1.96	1.18
9年目	R 16	0.5775	102.8			1.96	1.13
10年目	R 17	0.5553	102.8			1.96	1.09
11年目	R 18	0.5339	102.8			1.96	1.05
12年目	R 19	0.5134	102.8			1.96	1.01
13年目	R 20	0.4936	102.8			1.96	0.97
14年目	R 21	0.4746	102.8			1.96	0.93
15年目	R 22	0.4564	102.8			1.96	0.90
16年目	R 23	0.4388	102.8			1.96	0.86
17年目	R 24	0.4220	102.8			1.96	0.83
18年目	R 25	0.4057	102.8			1.96	0.80
19年目	R 26	0.3901	102.8			1.96	0.77
20年目	R 27	0.3751	102.8			1.96	0.74
21年目	R 28	0.3607	102.8			1.96	0.71
22年目	R 29	0.3468	102.8			1.96	0.68
23年目	R 30	0.3335	102.8			1.96	0.65
24年目	R 31	0.3207	102.8			1.96	0.63
25年目	R 32	0.3083	102.8			1.96	0.61
26年目	R 33	0.2965	102.8			1.96	0.58
27年目	R 34	0.2851	102.8			1.96	0.56
28年目	R 35	0.2741	102.8			1.96	0.54
29年目	R 36	0.2636	102.8			1.96	0.52
30年目	R 37	0.2534	102.8			1.96	0.50
31年目	R 38	0.2437	102.8			1.96	0.48
32年目	R 39	0.2343	102.8			1.96	0.46
33年目	R 40	0.2253	102.8			1.96	0.44
34年目	R 41	0.2166	102.8			1.96	0.43
35年目	R 42	0.2083	102.8			1.96	0.41
36年目	R 43	0.2003	102.8			1.96	0.39
37年目	R 44	0.1926	102.8			1.96	0.38
38年目	R 45	0.1852	102.8			1.96	0.36
39年目	R 46	0.1780	102.8			1.96	0.35
40年目	R 47	0.1712	102.8			1.96	0.34
41年目	R 48	0.1646	102.8			1.96	0.32
42年目	R 49	0.1583	102.8			1.96	0.31
43年目	R 50	0.1522	102.8			1.96	0.30
44年目	R 51	0.1463	102.8			1.96	0.29
45年目	R 52	0.1407	102.8			1.96	0.28
46年目	R 53	0.1353	102.8			1.96	0.27
47年目	R 54	0.1301	102.8			1.96	0.26
48年目	R 55	0.1251	102.8			1.96	0.25
49年目	R 56	0.1203	102.8	0.00	0.00	1.96	0.24
合計				178.84	147.79	91.23	30.82
				178.84		91.23	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。





参考様式-1

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道55号	南国安芸道路	4	12.5km

■事業費内訳 (全体事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					49,016	
改良費					9,614	
土工					m <sup>3</sup> 1,478,752	4,539 切土(109,456m <sup>3</sup> )、盛土(1,219,296m <sup>3</sup> )
軟弱地盤改良工					m <sup>3</sup> -	-
法面工					m <sup>2</sup> 71,741	21 切土法面、盛土法面
擁壁工					式 1	1,512 もたれ擁壁、逆T型擁壁等
管渠工					m 867	30
函渠工					m 1,065	1,227
排水工					m 19,821	400
中央分離帯工					m 5,628	288
雑工					式 1	1,598 ストンガード・鋼製防護工・仮設工等
橋梁費					16,764	
100m以上					m 4,043	14,249 鋼橋2橋、PC橋6橋
100m未満					m 494	2,515 PC橋8橋
トンネル費					14,221	
NATM					m 5,408	14,221 3本(上下線)
シールド					m	
IC・JCT費					6,956	
IC					箇所 5	6,956 ダイヤモンド型フルランプ型式(3)、ダイヤモンド型ハーフランプ型式(2)
JCT					箇所 -	-
舗装費					1,191	
車道舗装					m <sup>2</sup> 114,944	1,191
歩道舗装					m <sup>2</sup> -	-
付帯施設費					269	
交通管理施設工					式 1	269 標識工、防護柵工、道路照明等
遮音壁					m -	-
②用地及補償費					9,729	
用地費					m <sup>2</sup> 488,671	6,110
宅地					m <sup>2</sup> 26,457	1,175
田畑					m <sup>2</sup> 416,885	4,898
山林・原野					m <sup>2</sup> 45,329	37
その他					m <sup>2</sup> -	-
補償費					式 1	3,619
③間接経費					式 1	6,655 地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費						65,400

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用



参考様式-1

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道55号	南国安芸道路	4	12.5km

■事業費内訳 (残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考	
①工事費					19,103		
改良費					1,461		
	土工		m <sup>3</sup>	323,026	531	盛土	
	軟弱地盤改良工		m <sup>3</sup>		-		
	法面工		m <sup>2</sup>	0	0		
	擁壁工		式	1	455	もたれ擁壁、逆T型擁壁等	
	管渠工		m	234	8		
	函渠工		m	84	290		
	排水工		m	4,805	69		
	中央分離帯工		m	1,915	98		
	雑工		式	1	10	ストーンガード・鋼製防護工等	
橋梁費					8,197		
	100m以上		m	2,266	7,097		
	100m未満		m	329	1,100		
トンネル費					7,111		
	NATM		m	2,704	7,111		
	シールド		m				
IC・JCT費					1,332		
	IC		箇所	2	1,332		
	JCT		箇所		-		
舗装費					844		
	車道舗装		m <sup>2</sup>	81,429	844		
	歩道舗装		m <sup>2</sup>		-		
付帯施設費					158		
	交通管理施設工		式	1	158	標識工、防護柵工、道路照明等	
	遮音壁		m		-		
②用地及補償費					43		
用地費			m <sup>2</sup>	0	0		
	宅地		m <sup>2</sup>	0	0		
	田畑		m <sup>2</sup>	0	0		
	山林・原野		m <sup>2</sup>	0	0		
	その他		m <sup>2</sup>		-		
補償費			式	1	43		
③間接経費				式	1	526	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					19,672		

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

## 全事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道55号	南国安芸道路	4	12.5km

## ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	12.5	1,777	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	10,848	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			12,625	

## 【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

## 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道55号	南国安芸道路	4	12.5km

## ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	12.5	1,995	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	8,040	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			10,035	

## 【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

再評価結果（令和3年度事業継続箇所）（原案）

事業名	一般国道55号 南国安芸道路（芸西西～安芸西）		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自：高知県安芸郡芸西村西分 至：高知県安芸市馬ノ丁				延長	8.5km
事業概要	<p>一般国道55号は、徳島市を起点に阿南市、海陽町、室戸市、安芸市などを經由し、高知市に至る延長約200kmの主要幹線道路であり、四国広域交通ネットワークを形成する基幹道路として、地域の生活や経済、観光の振興に大きな役割を果たしている。</p> <p>一般国道55号南国安芸道路（芸西西～安芸西）は、高規格幹線道路網を構成する自動車専用道路として整備される高知東部自動車道の一部であり、高知自動車道及び阿南安芸自動車道と一体で機能することにより、四国8の字ネットワークを形成し、高知県東部地域の広域交流の促進及び地域活性化に大きく寄与する道路である。</p> <p>また、南海トラフ巨大地震や津波発生時の緊急輸送道路の確保、地域産業（観光振興）の支援、第3次医療施設への迅速な救急搬送の支援などを目的としている。</p>					
H23年度事業化	H11年度都市計画決定 （H一年度変更）		H26年度用地着手		H28年度工事着手	
全体事業費	435億円		事業進捗率 （令和2年3月末時点）	約20%	供用済延長	0.0km
計画交通量	14,100～16,400台/日					
費用対効果 分析結果	B/C （事業全体）	1.3 (1.9)	総費用 （残事業）/（事業全体） 598/3,768億円	総便益 （残事業）/（事業全体） 1,671/4,970億円	基準年 令和2年	
	（残事業）	2.8 (2.6)	事業費：487/3,574億円 維持管理費：110/193億円	走行時間短縮便益：1,431/4,299億円 走行経費減少便益：171/504億円 交通事故減少便益：70/167億円		
感度分析の結果	<p>（事業全体）交通量：B/C=1.3～1.4（交通量±10%）（残事業）交通量：B/C=2.4～3.2（交通量±10%）</p> <p>事業費：B/C=1.3～1.3（事業費±10%）事業費：B/C=2.6～3.0（事業費±10%）</p> <p>事業期間：B/C=1.3～1.3（事業期間±20%）事業期間：B/C=2.7～2.9（事業期間±20%）</p>					
事業の効果等	<p>南海トラフ巨大地震や津波発生時の緊急輸送道路の確保、現道の渋滞緩和、第3次医療施設への迅速な救急搬送の支援及び高知IC・高知新港・高知龍馬空港間のアクセス向上による地域産業の活性化など多様な効果が期待できる。</p> <p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現道等の時間損失の削減が見込まれる。</li> <li>・現道等における混雑時旅行速度の改善が見込まれる。</li> <li>・路線バス等の速達性・定時性が向上し利便性向上が期待できる。</li> <li>・JR高知駅（特急停車駅）へのアクセス向上が見込まれる。</li> <li>・高知龍馬空港（第二種空港）へのアクセス向上が見込まれる。</li> </ul> <p>②物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知港（重要港湾）へのアクセス向上が見込まれる。</li> <li>・高知県東部における農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる。</li> </ul> <p>③国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知自動車道及び阿南安芸自動車道と一体で機能し、四国8の字ネットワークの形成に寄与する。</li> <li>・隣接した日常活動圏中心都市間（安芸市と高知市）を最短時間で連絡する路線を構成する。</li> <li>・日常活動圏中心都市（高知市）へのアクセス向上が見込まれる。</li> </ul> <p>④個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「観光振興プロジェクト」、「過疎地域自立促進プロジェクト」、「ゆず振興プロジェクト」を支援。</li> <li>・高知県東部地域の観光地へのアクセス向上が見込まれる。</li> </ul> <p>⑤安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三次医療施設（高知医療センター）へのアクセス向上が見込まれる。</li> </ul> <p>⑥安全な生活環境の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺道路の交通量が減少することで安全性の向上が見込まれる。</li> </ul> <p>⑦災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路寸断で孤立化する集落の解消が見込まれる。</li> <li>・高知県地域防災計画において第一次緊急輸送道路に位置づけられている。</li> </ul>					

- ・緊急輸送道路が通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線が形成される。
- ・国道55号の防災点検箇所を回避したルートが形成される。
- ⑧地球環境の保全
  - ・CO2排出量の削減が見込まれる。
- ⑨生活環境の改善・保全
  - ・NOX排出量の削減が見込まれる。
  - ・SPM排出量の削減が見込まれる。
- ⑩他のプロジェクトとの関係
  - ・第2次南国市都市計画マスタープランの中で「交通施設の整備方針」として位置づけられている。
- ⑪その他
  - ・「南海トラフ巨大地震」における救援ルートの信頼性向上や自衛隊救援活動ルートの確保が見込まれる。

関係する地方公共団体等の意見

- ・地域から頂いた主な意見等  
高知東部自動車道整備促進期成同盟会等より、本事業の整備促進について積極的な要望活動が続けられている。
- ・高知県知事の意見
  - ・事業継続に異議はありません。
 四国8の字ネットワークを構成する一般国道55号高知南国道路、南国安芸道路は、高知自動車道、高知新港及び高知龍馬空港相互の連携を強化し、県東部地域における経済の活性化を図る様々な取り組みを支えるとともに、発生の切迫度が高まる南海トラフ地震や、近年、激甚化・頻発化する自然災害への備えを高め、地域防災力の向上を図るうえでも大変重要な路線です。  
このため、国においては、本年度の開通予定が示されている高知南国道路の着実な整備及び南国安芸道路の早期開通に向け、より一層の事業推進をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・平成24年度 一般国道55号安芸道路 延長5.8km事業化
- ・平成25年2月 高知東部自動車道（香南かがみIC～香南やすIC）延長2.9km 2車線開通
- ・平成26年3月 高知東部自動車道（香南のいちIC～香南かがみIC）延長2.2km 2車線開通
- ・平成27年3月 高知東部自動車道（高知南IC～なんこく南IC）延長4.7km 2車線開通
- ・平成28年4月 高知東部自動車道（なんこく南IC～高知龍馬空港IC）延長4.1km 2車線開通

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・平成23年度に事業化、用地進捗率64%、事業進捗率20%（令和2年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・早期の全線開通に向けて用地買収及び工事を推進する。

施設の構造や工法の変更等

- ・今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理費を考慮した構造等の採用等、総コストの縮減に努めていくこととする。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

- ・以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 費用便益分析結果の（）書きは、高知南国道路（芸西西～安芸西）の分析結果を記入している。  
 ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

2 高土政第517号  
令和2年9月7日

四国地方整備局長 様

高知県知事  
(公印省略)

四国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）  
の作成に係る意見照会について（回答）

令和2年8月28日付け国四整企画第11号で照会のありましたことについて、別紙  
のとおり回答します。

【道路事業】

- 一般国道 55 号 高知南国道路
- 一般国道 55 号 南国安芸道路
- 一般国道 55 号 南国安芸道路（芸西西～安芸西）

意見：事業継続に異議はありません。

四国 8 の字ネットワークを構成する一般国道 55 号高知南国道路、南国安芸道路は、高知自動車道、高知新港及び高知龍馬空港相互の連携を強化し、県東部地域における経済の活性化を図る様々な取り組みを支えるとともに、発生切迫度が高まる南海トラフ地震や、近年、激甚化・頻発化する自然災害への備えを高め、地域防災力の向上を図るうえでも大変重要な路線です。

このため、国においては、本年度の開通予定が示されている高知南国道路の着実な整備及び南国安芸道路の早期開通に向け、より一層の事業推進をお願いします。

様式一1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道55号 南国安芸道路（芸西西～安芸西）
事業主体	四国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

	指 標	指標チェックの根拠
前提条件	<p>事業の効率性</p> <p>■ 便益が費用を上回っている</p>	<p>全体：費用便益比(3便益)(B/C)=1.9(経済的純現在価値(B-C)=361億円、経済的内部収益率(EIRR)=7.9%)</p> <p>残事業：費用便益比(3便益)(B/C)=2.6(経済的純現在価値(B-C)=459億円、経済的内部収益率(EIRR)=11.1%)</p>

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標	指 標	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率		時間損失削減量：130万人時間/年 削減率：96.8%
	□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される		—
	□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される		—
	■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する		現道を利用する路線バス及び高速バスとさでん交通（路線バス、高速バス）13便/日（往復）
	■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる		JR高知駅（特急停車駅） 安芸市役所～JR高知駅 約10分短縮（67分⇒57分）
	■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる		高知龍馬空港（第二種空港） 安芸市役所～高知龍馬空港 約10分短縮（42分⇒32分）
	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる		高知港（重要港湾） 安芸市役所～高知新港 約10分短縮（55分⇒45分）
	■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上		JJA土佐あき～園芸流通センター 約10分短縮（53分⇒43分）
	□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはIS0規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する		—
	物流効率化の支援		



1. 活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である <input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する <input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり <input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である <input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である <input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する <input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる <input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り <input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり <input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する <input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する <input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する <input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する <input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される <input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である <input type="checkbox"/> 新規整備の公共施設へ直結する道路である <input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンポル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	<p>香南市、安芸市、室戸市：観光振興プロジェクト  北川村：ゆず振興プロジェクト  安芸市、室戸市：通称地域自立促進プロジェクト  安芸市歴史民俗資料館、馬路温泉、毛木の歴マルモッタン、室戸岬、室戸ジオパーク  高知JCT～毛木の歴マルモッタン 約10分短縮(91分⇒81分)  高知JCT～安芸市歴史民俗資料館 約10分短縮(68分⇒58分)</p>
	2. 暮らし 歩行者・自転車 のための生活空間の形成 無電柱化による美しい街並みの形成 安全で安心できるくらしの確保	<input type="checkbox"/> 歩行者・自転車 のための生活空間の形成 <input type="checkbox"/> 無電柱化による美しい街並みの形成 <input type="checkbox"/> 安全で安心できるくらしの確保	高知医療センター(第三次医療施設) 田野町役場～高知医療センター 約10分短縮(73分⇒63分)

3. 安全	安全な生活環境の確保 災害への備え	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	-		
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は児童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	-		
		<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1〜2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	-		
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、概道府県神域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	高知県地域防災計画において第一次緊急輸送道路に指定		
		<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	現道である国道55号が津波浸水等により通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成		
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	-		
4. 環境	地球環境の保全 生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	防災点検箇所 防災点検対策箇所（防災ランク1）：1箇所 カルテ対応箇所（防災ランク2）：4箇所		
		<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	-		
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	-		
		<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	-		
		<input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	-		
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2 排出削減量：5 千t-CO2/年 CO2 排出削減率：21.2%		
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	NO2 排出削減量：36.4 t-NOx/年 NO2 排出削減率：91.4%		
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	SPM 排出削減量：2.1 t-SPM/年 SPM 排出削減率：92.1%		
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	-		
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	-		
		5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	-
				<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	-
<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	-				
<input checked="" type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	「南海トラフ巨大地震」における救援ルートへの信頼性の向上 「南海トラフ巨大地震」における自衛隊救援活動ルートの確保				
	-				

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道55号	南国安芸道路 (芸西西～安芸西)	L = 8.5 km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
14,100～16,400	2	四国地方整備局

## ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和2年度		
単純合計	398億円	70億円	468億円
うち残事業分	309億円	70億円	378億円
基準年における 現在価値 (C)	360億円	23億円	383億円
うち残事業分	263億円	23億円	285億円

## ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和2年度			
供用年	令和10年度(完成)			
単年便益 (初年便益)	46億円	5.3億円	1.5億円	52億円
基準年における 現在価値 (B)	648億円	76億円	21億円	745億円
うち残事業分	648億円	76億円	21億円	745億円

③ 結果

費用便益比 (B/C)	1.9
経済的純現在価値 (B-C)	361億円
経済的内部収益率 (EIRR)	7.9%
費用便益比 (残事業)	2.6
経済的純現在価値 (残事業)	459億円
経済的内部収益率 (残事業)	11.1%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析 (全事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	14,100~16,400	±10%	1.6~2.3
事業費	398億円	±10%	1.8~2.1
事業期間	17年	±20%	1.9~2.0

(残事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	14,100~16,400	±10%	2.1~3.1
事業費	309億円	±10%	2.4~2.9
事業期間	7年	±20%	2.5~2.7

交通状況の変化

【事業全体】

様式-3①

事業名：南国安芸道路(芸西西～安芸西)

(推計時点 R12年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 南国安芸道路(芸西西～安芸西) : 8.5km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]		15,600	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]		7	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]		19.14	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	国道55号 (現道) : 9.5km	交通量	[台/日]	18,900	3,600
		走行時間	[分]	20	13
		走行時間費用	[億円/年]	70.35	8.27
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計 : 33.8km	走行時間費用	[億円/年]	25.65	23.53	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 51.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	96.00	50.94	45.06

- ※1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

【残事業】

様式-3①

事業名：南国安芸道路(芸西西～安芸西)

(推計時点 R12年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 南国安芸道路(芸西西～安芸西) : 8.5km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]		15,600	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]		7	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]		19.14	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	国道55号 (現道) : 9.5km	交通量	[台/日]	18,900	3,600
		走行時間	[分]	20	13
		走行時間費用	[億円/年]	70.35	8.27
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計 : 33.8km	走行時間費用	[億円/年]	25.65	23.53	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 51.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	96.00	50.94	45.06

- ※1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)





# 費用便益分析の条件

事業名: 南国安芸道路(芸西西～安芸西)

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和2年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)
		複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他( )	<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
有の場合のみ		考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
		その他( )	
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他( )	<input type="checkbox"/>		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量推計結果について、交通容量(Qmax)以上の路線交通容量(Qmin~Qmax)内の路線等が混在した配分結果となっているため、便益算出においては速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
その他( )	<input type="checkbox"/>		

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	( ) %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日	
	冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載			
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

項目		チェック欄		
費用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他(既投資分は実績額、未投資分は供用年までの均等割)	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 当該区間を管轄する事務所における直轄国道維持管理費実績に基づき算出		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行 われない場合の費 用	考慮する 場合のみ	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>
			考慮する	<input type="checkbox"/>
			事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
			当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)	
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

## 費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名：南国安芸道路(芸西西～安芸西)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-17年目	H 23	1.4233	99.8	0.95	1.40		
-16年目	H 24	1.3686	99.0	2.37	3.37		
-15年目	H 25	1.3159	99.0	4.19	5.73		
-14年目	H 26	1.2653	101.5	4.96	6.36		
-13年目	H 27	1.2167	103.0	3.73	4.53		
-12年目	H 28	1.1699	102.8	10.38	12.14		
-11年目	H 29	1.1249	102.9	10.31	11.58		
-10年目	H 30	1.0816	102.8	11.42	12.35		
-9年目	R 1	1.0400	102.8	19.64	20.43		
-8年目	R 2	1.0000	102.8	21.71	21.71		
-7年目	R 3	0.9615	102.8	21.87	21.03		
-6年目	R 4	0.9246	102.8	40.37	37.33		
-5年目	R 5	0.8890	102.8	48.79	43.38		
-4年目	R 6	0.8548	102.8	57.59	49.23		
-3年目	R 7	0.8219	102.8	61.26	50.35		
-2年目	R 8	0.7903	102.8	64.94	51.32		
-1年目	R 9	0.7599	102.8	13.78	10.47		
完成供用開始年次	R 10	0.7307	102.8			1.39	1.02
1年目	R 11	0.7026	102.8			1.39	0.98
2年目	R 12	0.6756	102.8			1.39	0.94
3年目	R 13	0.6496	102.8			1.39	0.90
4年目	R 14	0.6246	102.8			1.39	0.87
5年目	R 15	0.6006	102.8			1.39	0.84
6年目	R 16	0.5775	102.8			1.39	0.80
7年目	R 17	0.5553	102.8			1.39	0.77
8年目	R 18	0.5339	102.8			1.39	0.74
9年目	R 19	0.5134	102.8			1.39	0.71
10年目	R 20	0.4936	102.8			1.39	0.69
11年目	R 21	0.4746	102.8			1.39	0.66
12年目	R 22	0.4564	102.8			1.39	0.63
13年目	R 23	0.4388	102.8			1.39	0.61
14年目	R 24	0.4220	102.8			1.39	0.59
15年目	R 25	0.4057	102.8			1.39	0.56
16年目	R 26	0.3901	102.8			1.39	0.54
17年目	R 27	0.3751	102.8			1.39	0.52
18年目	R 28	0.3607	102.8			1.39	0.50
19年目	R 29	0.3468	102.8			1.39	0.48
20年目	R 30	0.3335	102.8			1.39	0.46
21年目	R 31	0.3207	102.8			1.39	0.45
22年目	R 32	0.3083	102.8			1.39	0.43
23年目	R 33	0.2965	102.8			1.39	0.41
24年目	R 34	0.2851	102.8			1.39	0.40
25年目	R 35	0.2741	102.8			1.39	0.38
26年目	R 36	0.2636	102.8			1.39	0.37
27年目	R 37	0.2534	102.8			1.39	0.35
28年目	R 38	0.2437	102.8			1.39	0.34
29年目	R 39	0.2343	102.8			1.39	0.33
30年目	R 40	0.2253	102.8			1.39	0.31
31年目	R 41	0.2166	102.8			1.39	0.30
32年目	R 42	0.2083	102.8			1.39	0.29
33年目	R 43	0.2003	102.8			1.39	0.28
34年目	R 44	0.1926	102.8			1.39	0.27
35年目	R 45	0.1852	102.8			1.39	0.26
36年目	R 46	0.1780	102.8			1.39	0.25
37年目	R 47	0.1712	102.8			1.39	0.24
38年目	R 48	0.1646	102.8			1.39	0.23
39年目	R 49	0.1583	102.8			1.39	0.22
40年目	R 50	0.1522	102.8			1.39	0.21
41年目	R 51	0.1463	102.8			1.39	0.20
42年目	R 52	0.1407	102.8			1.39	0.20
43年目	R 53	0.1353	102.8			1.39	0.19
44年目	R 54	0.1301	102.8			1.39	0.18
45年目	R 55	0.1251	102.8			1.39	0.17
46年目	R 56	0.1203	102.8			1.39	0.17
47年目	R 57	0.1157	102.8			1.39	0.16
48年目	R 58	0.1112	102.8			1.39	0.15
49年目	R 59	0.1069	102.8	-21.98	-2.35	1.39	0.15
合計				376.29	360.36	69.55	22.70
単純事業費計				398.27		69.55	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

## 費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名：南国安芸道路(芸西西～安芸西)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-7年目	R 3	0.9615	102.8	21.87	21.03		
-6年目	R 4	0.9246	102.8	40.37	37.33		
-5年目	R 5	0.8890	102.8	48.79	43.38		
-4年目	R 6	0.8548	102.8	57.59	49.23		
-3年目	R 7	0.8219	102.8	61.26	50.35		
-2年目	R 8	0.7903	102.8	64.94	51.32		
-1年目	R 9	0.7599	102.8	13.78	10.47		
完成供用開始年次	R 10	0.7307	102.8			1.39	1.02
1年目	R 11	0.7026	102.8			1.39	0.98
2年目	R 12	0.6756	102.8			1.39	0.94
3年目	R 13	0.6496	102.8			1.39	0.90
4年目	R 14	0.6246	102.8			1.39	0.87
5年目	R 15	0.6006	102.8			1.39	0.84
6年目	R 16	0.5775	102.8			1.39	0.80
7年目	R 17	0.5553	102.8			1.39	0.77
8年目	R 18	0.5339	102.8			1.39	0.74
9年目	R 19	0.5134	102.8			1.39	0.71
10年目	R 20	0.4936	102.8			1.39	0.69
11年目	R 21	0.4746	102.8			1.39	0.66
12年目	R 22	0.4564	102.8			1.39	0.63
13年目	R 23	0.4388	102.8			1.39	0.61
14年目	R 24	0.4220	102.8			1.39	0.59
15年目	R 25	0.4057	102.8			1.39	0.56
16年目	R 26	0.3901	102.8			1.39	0.54
17年目	R 27	0.3751	102.8			1.39	0.52
18年目	R 28	0.3607	102.8			1.39	0.50
19年目	R 29	0.3468	102.8			1.39	0.48
20年目	R 30	0.3335	102.8			1.39	0.46
21年目	R 31	0.3207	102.8			1.39	0.45
22年目	R 32	0.3083	102.8			1.39	0.43
23年目	R 33	0.2965	102.8			1.39	0.41
24年目	R 34	0.2851	102.8			1.39	0.40
25年目	R 35	0.2741	102.8			1.39	0.38
26年目	R 36	0.2636	102.8			1.39	0.37
27年目	R 37	0.2534	102.8			1.39	0.35
28年目	R 38	0.2437	102.8			1.39	0.34
29年目	R 39	0.2343	102.8			1.39	0.33
30年目	R 40	0.2253	102.8			1.39	0.31
31年目	R 41	0.2166	102.8			1.39	0.30
32年目	R 42	0.2083	102.8			1.39	0.29
33年目	R 43	0.2003	102.8			1.39	0.28
34年目	R 44	0.1926	102.8			1.39	0.27
35年目	R 45	0.1852	102.8			1.39	0.26
36年目	R 46	0.1780	102.8			1.39	0.25
37年目	R 47	0.1712	102.8			1.39	0.24
38年目	R 48	0.1646	102.8			1.39	0.23
39年目	R 49	0.1583	102.8			1.39	0.22
40年目	R 50	0.1522	102.8			1.39	0.21
41年目	R 51	0.1463	102.8			1.39	0.20
42年目	R 52	0.1407	102.8			1.39	0.20
43年目	R 53	0.1353	102.8			1.39	0.19
44年目	R 54	0.1301	102.8			1.39	0.18
45年目	R 55	0.1251	102.8			1.39	0.17
46年目	R 56	0.1203	102.8			1.39	0.17
47年目	R 57	0.1157	102.8			1.39	0.16
48年目	R 58	0.1112	102.8			1.39	0.15
49年目	R 59	0.1069	102.8	-4.01	-0.43	1.39	0.15
合計				304.60	262.68	69.55	22.70
				308.61		69.55	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

【事業全体】

箇所名：南国安芸道路(芸西西～安芸西)

年次 (竣工年)	総走行台数の年次別伸び率 (四国ブロック)		GDP デフレーター	走行時間短縮便益(億円)			走行費用減少便益(億円)				事故減少便益(億円)		合計(億円) 便益合計 (①~③)	現在価値 割引率%						
	乗用車類	小型貨物		普通貨物	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A) × ②	③	現在価値 (A) × ③									
R 2	0.99513	0.98322	1.00166	0.99371	0.7307	102.8	27.40	8.90	9.30	45.60	33.32	3.48	0.65	1.18	5.31	3.88	1.47	1.07	52.38	38.28
完成供用開始年次	R 10	0.99511	0.98293	1.00166	0.99367	0.7026	102.8	27.26	9.31	45.33	31.85	3.47	0.64	1.18	5.29	3.71	1.46	1.03	52.08	36.59
1年目	R 11	0.99508	0.98263	1.00166	0.99363	0.6756	102.8	27.13	9.33	45.06	30.44	3.45	0.63	1.18	5.26	3.55	1.45	0.98	51.77	34.98
2年目	R 12	0.99043	0.99132	0.99716	0.99140	0.6496	102.8	26.87	9.30	44.70	29.04	3.42	0.62	1.18	5.22	3.39	1.44	0.93	51.35	33.36
3年目	R 13	0.99033	0.99124	0.99715	0.99133	0.6246	102.8	26.61	9.28	44.34	27.69	3.38	0.62	1.17	5.18	3.23	1.43	0.89	50.94	31.82
4年目	R 14	0.99024	0.99116	0.99714	0.99125	0.6006	102.8	26.35	9.25	43.98	26.41	3.35	0.61	1.17	5.13	3.08	1.41	0.85	50.52	30.34
5年目	R 15	0.99014	0.99108	0.99714	0.99117	0.5775	102.8	26.09	9.22	43.62	25.19	3.32	0.61	1.17	5.09	2.94	1.40	0.81	50.11	28.94
6年目	R 16	0.99005	0.99100	0.99713	0.99109	0.5553	102.8	25.83	9.20	43.26	24.02	3.28	0.60	1.16	5.05	2.80	1.39	0.77	49.69	27.60
7年目	R 17	0.98995	0.99092	0.99712	0.99101	0.5339	102.8	25.57	9.17	42.89	22.90	3.25	0.60	1.16	5.01	2.67	1.38	0.73	49.28	26.31
8年目	R 18	0.98984	0.99084	0.99711	0.99093	0.5134	102.8	25.31	9.14	42.53	21.84	3.22	0.59	1.16	4.97	2.55	1.36	0.70	48.86	25.09
9年目	R 19	0.98974	0.99075	0.99710	0.99085	0.4936	102.8	25.05	9.12	42.17	20.82	3.19	0.59	1.15	4.93	2.43	1.35	0.67	48.45	23.91
10年目	R 20	0.98963	0.99067	0.99709	0.99076	0.4746	102.8	24.79	9.09	41.81	19.84	3.15	0.58	1.15	4.88	2.32	1.34	0.63	48.03	22.80
11年目	R 21	0.98952	0.99058	0.99708	0.99068	0.4564	102.8	24.53	9.07	41.45	18.92	3.12	0.58	1.15	4.84	2.21	1.33	0.60	47.62	21.73
12年目	R 22	0.98941	0.99049	0.99708	0.99059	0.4388	102.8	24.27	9.04	41.09	18.03	3.09	0.57	1.14	4.80	2.11	1.31	0.58	47.20	20.71
13年目	R 23	0.98930	0.99040	0.99707	0.99050	0.4220	102.8	24.01	9.01	40.73	17.19	3.05	0.56	1.14	4.76	2.01	1.30	0.55	46.79	19.74
14年目	R 24	0.98918	0.99031	0.99706	0.99041	0.4057	102.8	23.75	8.99	40.37	16.38	3.02	0.56	1.14	4.72	1.91	1.29	0.52	46.37	18.81
15年目	R 25	0.98907	0.99021	0.99705	0.99032	0.3901	102.8	23.49	8.96	40.01	15.61	2.99	0.55	1.13	4.67	1.82	1.28	0.50	45.96	17.93
16年目	R 26	0.98895	0.99012	0.99704	0.99022	0.3751	102.8	23.23	8.93	39.65	14.87	2.95	0.55	1.13	4.63	1.74	1.26	0.47	45.54	17.08
17年目	R 27	0.98882	0.99002	0.99703	0.99013	0.3607	102.8	22.97	8.91	39.29	14.17	2.92	0.54	1.13	4.59	1.66	1.25	0.45	45.13	16.28
18年目	R 28	0.98870	0.98992	0.99703	0.99003	0.3468	102.8	22.71	8.88	38.92	13.50	2.89	0.54	1.12	4.55	1.58	1.24	0.43	44.71	15.51
19年目	R 29	0.98857	0.98981	0.99702	0.98993	0.3335	102.8	22.45	8.85	38.56	12.86	2.86	0.53	1.12	4.51	1.50	1.23	0.41	44.30	14.77
20年目	R 30	0.98843	0.98971	0.99701	0.98982	0.3207	102.8	22.20	8.83	38.20	12.25	2.82	0.53	1.12	4.46	1.43	1.21	0.39	43.88	14.07
21年目	R 31	0.98830	0.98960	0.99700	0.98972	0.3083	102.8	21.94	8.80	37.84	11.67	2.79	0.52	1.11	4.42	1.36	1.20	0.37	43.47	13.40
22年目	R 32	0.98816	0.98949	0.99699	0.98961	0.2965	102.8	21.68	8.77	37.48	11.11	2.76	0.52	1.11	4.38	1.30	1.19	0.35	43.05	12.76
23年目	R 33	0.98802	0.98938	0.99698	0.98950	0.2851	102.8	21.42	8.75	37.12	10.58	2.72	0.51	1.11	4.34	1.24	1.18	0.34	42.64	12.16
24年目	R 34	0.98787	0.98927	0.99697	0.98939	0.2741	102.8	21.16	8.72	36.76	10.08	2.69	0.50	1.10	4.30	1.18	1.16	0.32	42.22	11.57
25年目	R 35	0.98772	0.98915	0.99696	0.98928	0.2636	102.8	20.90	8.69	36.40	9.59	2.66	0.50	1.10	4.26	1.12	1.15	0.30	41.80	11.02
26年目	R 36	0.98757	0.98903	0.99695	0.98916	0.2534	102.8	20.64	8.67	36.04	9.13	2.62	0.49	1.10	4.21	1.07	1.14	0.29	41.39	10.49
27年目	R 37	0.98741	0.98891	0.99694	0.98904	0.2437	102.8	20.38	8.64	35.68	8.69	2.59	0.49	1.09	4.17	1.02	1.13	0.27	40.97	9.99
28年目	R 38	0.98725	0.98879	0.99693	0.98892	0.2343	102.8	20.12	8.61	35.32	8.27	2.56	0.48	1.09	4.13	0.97	1.11	0.26	40.56	9.50
29年目	R 39	0.98709	0.98866	0.99693	0.98880	0.2253	102.8	19.86	8.59	34.95	7.88	2.53	0.48	1.09	4.09	0.92	1.10	0.25	40.14	9.04
30年目	R 40	0.98692	0.98853	0.99692	0.98867	0.2166	102.8	19.60	8.56	34.59	7.49	2.49	0.47	1.08	4.05	0.88	1.09	0.24	39.73	8.61
31年目	R 41	0.98675	0.98839	0.99691	0.98854	0.2083	102.8	19.34	8.54	34.23	7.13	2.46	0.47	1.08	4.00	0.83	1.08	0.22	39.31	8.19
32年目	R 42	0.98657	0.98826	0.99690	0.98841	0.2003	102.8	19.08	8.51	33.87	6.78	2.43	0.46	1.08	3.96	0.79	1.06	0.21	38.90	7.79
33年目	R 43	0.98639	0.98812	0.99689	0.98827	0.1926	102.8	18.82	8.48	33.51	6.45	2.39	0.45	1.07	3.92	0.76	1.05	0.20	38.48	7.41
34年目	R 44	0.98620	0.98798	0.99688	0.98813	0.1852	102.8	18.56	8.46	33.15	6.14	2.36	0.45	1.07	3.88	0.72	1.04	0.19	38.07	7.05
35年目	R 45	0.98601	0.98783	0.99687	0.98799	0.1780	102.8	18.30	8.43	32.79	5.84	2.33	0.44	1.07	3.84	0.68	1.03	0.18	37.65	6.70
36年目	R 46	0.98581	0.98768	0.99686	0.98785	0.1712	102.8	18.04	8.40	32.43	5.55	2.29	0.44	1.06	3.80	0.65	1.01	0.17	37.24	6.38
37年目	R 47	0.98560	0.98753	0.99685	0.98770	0.1646	102.8	17.78	8.38	32.07	5.28	2.26	0.43	1.06	3.75	0.62	1.00	0.16	36.82	6.06
38年目	R 48	0.98539	0.98737	0.99684	0.98754	0.1583	102.8	17.52	8.35	31.71	5.02	2.23	0.43	1.06	3.71	0.59	0.99	0.16	36.41	5.76
39年目	R 49	0.98518	0.98721	0.99683	0.98739	0.1522	102.8	17.26	8.32	31.35	4.77	2.19	0.42	1.05	3.67	0.56	0.98	0.15	35.99	5.48
40年目	R 50	0.98495	0.98704	0.99682	0.98722	0.1463	102.8	17.00	8.30	30.99	4.53	2.16	0.42	1.05	3.63	0.53	0.96	0.14	35.58	5.20
41年目	R 51	0.98472	0.98687	0.99681	0.98706	0.1407	102.8	16.74	8.27	30.62	4.31	2.13	0.41	1.05	3.59	0.50	0.95	0.13	35.16	4.95
42年目	R 52	0.98449	0.98670	0.99680	0.98689	0.1353	102.8	16.48	8.24	30.26	4.09	2.10	0.41	1.04	3.54	0.48	0.94	0.13	34.75	4.70
43年目	R 53	0.98424	0.98652	0.99679	0.98672	0.1301	102.8	16.22	8.22	29.90	3.89	2.06	0.40	1.04	3.50	0.46	0.93	0.12	34.33	4.47
44年目	R 54	0.98399	0.98633	0.99678	0.98654	0.1251	102.8	15.96	8.19	29.54	3.70	2.03	0.39	1.04	3.46	0.43	0.91	0.11	33.92	4.24
45年目	R 55	0.98373	0.98614	0.99677	0.98635	0.1203	102.8	15.70	8.16	29.18	3.51	2.00	0.39	1.03	3.42	0.41	0.90	0.11	33.50	4.03
46年目	R 56	0.98346	0.98595	0.99676	0.98616	0.1157	102.8	15.44	8.14	28.82	3.33	1.96	0.38	1.03	3.38	0.39	0.89	0.10	33.09	3.83
47年目	R 57	0.98318	0.98575	0.99675	0.98597	0.1112	102.8	15.18	8.11	28.46	3.16	1.93	0.38	1.03	3.34	0.37	0.88	0.10	32.67	3.63
48年目	R 58	0.98289	0.98554	0.99673	0.98577	0.1069	102.8	14.92	8.09	28.10	3.00	1.90	0.37	1.02	3.29	0.35	0.86	0.09	32.26	3.45
49年目	R 59	0.98263	0.98529	0.99672	0.98554	0.1028	102.8	14.66	8.06	27.74	2.83	1.87	0.36</							

便益の現在価値算定表

箇所名：南国安芸道路(芸西西～安芸西)

【残事業】

年次	年度 (基準年)	総走行台車の年次別伸び率 (四国ブロック)			割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間短縮便益 (億円)				走行費用減少便益 (億円)				事故減少便益 (億円)		合計 (億円)				
		乗用車類	小型貨物	普通貨物			全車	乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	① × (A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A) × (2)	③	現在価値 (3) × (A)	便益合計 (1)~(3)	現在価値 割引率%
完成供開始年次	R 10	0.99513	0.98322	1.00166	0.99371	0.7307	102.8	27.40	8.90	9.30	45.60	33.32	3.48	0.65	1.18	5.31	3.88	1.47	1.07	52.38	38.28
1年目	R 11	0.99511	0.98293	1.00166	0.99367	0.7026	102.8	27.26	8.75	9.31	45.33	31.85	3.47	0.64	1.18	5.29	3.71	1.46	1.03	52.08	36.59
2年目	R 12	0.99508	0.98263	1.00166	0.99363	0.6756	102.8	27.13	8.60	9.33	45.06	30.44	3.45	0.63	1.18	5.26	3.55	1.45	0.98	51.77	34.98
3年目	R 13	0.99043	0.99132	0.99716	0.99140	0.6496	102.8	26.87	8.53	9.30	44.70	29.04	3.42	0.62	1.18	5.22	3.39	1.44	0.93	51.35	33.36
4年目	R 14	0.99033	0.99124	0.99715	0.99133	0.6246	102.8	26.61	8.45	9.28	44.34	27.69	3.38	0.62	1.17	5.18	3.23	1.43	0.89	50.94	31.82
5年目	R 15	0.99024	0.99116	0.99714	0.99125	0.6006	102.8	26.35	8.38	9.25	43.98	26.41	3.35	0.61	1.17	5.13	3.08	1.41	0.85	50.52	30.34
6年目	R 16	0.99014	0.99108	0.99714	0.99117	0.5775	102.8	26.09	8.30	9.22	43.62	25.19	3.32	0.61	1.17	5.09	2.94	1.40	0.81	50.11	28.94
7年目	R 17	0.99005	0.99100	0.99713	0.99109	0.5553	102.8	25.83	8.23	9.20	43.26	24.02	3.28	0.60	1.16	5.05	2.80	1.39	0.77	49.69	27.60
8年目	R 18	0.98995	0.99092	0.99712	0.99101	0.5339	102.8	25.57	8.15	9.17	42.89	22.90	3.25	0.60	1.16	5.01	2.67	1.38	0.73	49.28	26.31
9年目	R 19	0.98984	0.99084	0.99711	0.99093	0.5134	102.8	25.31	8.08	9.14	42.53	21.84	3.22	0.59	1.16	4.97	2.55	1.36	0.70	48.86	25.09
10年目	R 20	0.98974	0.99075	0.99710	0.99085	0.4936	102.8	25.05	8.00	9.12	42.17	20.82	3.19	0.59	1.15	4.93	2.43	1.35	0.67	48.45	23.91
11年目	R 21	0.98963	0.99067	0.99709	0.99076	0.4746	102.8	24.79	7.93	9.09	41.81	19.84	3.15	0.58	1.15	4.88	2.32	1.34	0.63	48.03	22.80
12年目	R 22	0.98952	0.99058	0.99709	0.99068	0.4564	102.8	24.53	7.85	9.07	41.45	18.92	3.12	0.58	1.15	4.84	2.21	1.33	0.60	47.62	21.73
13年目	R 23	0.98941	0.99049	0.99708	0.99059	0.4388	102.8	24.27	7.78	9.04	41.09	18.03	3.09	0.57	1.14	4.80	2.11	1.31	0.58	47.20	20.71
14年目	R 24	0.98930	0.99040	0.99707	0.99050	0.4220	102.8	24.01	7.70	9.01	40.73	17.19	3.05	0.56	1.14	4.76	2.01	1.30	0.55	46.79	19.74
15年目	R 25	0.98918	0.99031	0.99706	0.99041	0.4057	102.8	23.75	7.63	8.99	40.37	16.38	3.02	0.56	1.14	4.72	1.91	1.29	0.52	46.37	18.81
16年目	R 26	0.98907	0.99021	0.99705	0.99032	0.3901	102.8	23.49	7.55	8.96	40.01	15.61	2.99	0.55	1.13	4.67	1.82	1.28	0.50	45.96	17.93
17年目	R 27	0.98895	0.99012	0.99704	0.99022	0.3751	102.8	23.23	7.48	8.93	39.65	14.87	2.95	0.55	1.13	4.63	1.74	1.26	0.47	45.54	17.08
18年目	R 28	0.98882	0.99002	0.99703	0.99013	0.3607	102.8	22.97	7.41	8.91	39.29	14.17	2.92	0.54	1.13	4.59	1.66	1.25	0.45	45.13	16.28
19年目	R 29	0.98870	0.98992	0.99703	0.99003	0.3468	102.8	22.71	7.33	8.88	38.92	13.50	2.89	0.54	1.12	4.55	1.58	1.24	0.43	44.71	15.51
20年目	R 30	0.98857	0.98981	0.99702	0.98993	0.3335	102.8	22.45	7.26	8.85	38.56	12.86	2.86	0.53	1.12	4.51	1.50	1.23	0.41	44.30	14.77
21年目	R 31	0.98843	0.98971	0.99701	0.98982	0.3207	102.8	22.20	7.18	8.83	38.20	12.25	2.82	0.53	1.12	4.46	1.43	1.21	0.39	43.88	14.07
22年目	R 32	0.98830	0.98960	0.99700	0.98972	0.3083	102.8	21.94	7.11	8.80	37.84	11.67	2.79	0.52	1.11	4.42	1.36	1.20	0.37	43.47	13.40
23年目	R 33	0.98816	0.98949	0.99699	0.98961	0.2965	102.8	21.68	7.03	8.77	37.48	11.11	2.76	0.52	1.11	4.38	1.30	1.19	0.35	43.05	12.76
24年目	R 34	0.98802	0.98938	0.99698	0.98950	0.2851	102.8	21.42	6.96	8.75	37.12	10.58	2.72	0.51	1.11	4.34	1.24	1.18	0.34	42.64	12.16
25年目	R 35	0.98787	0.98927	0.99697	0.98939	0.2741	102.8	21.16	6.88	8.72	36.76	10.08	2.69	0.50	1.10	4.30	1.18	1.16	0.32	42.22	11.57
26年目	R 36	0.98772	0.98915	0.99696	0.98928	0.2636	102.8	20.90	6.81	8.69	36.40	9.59	2.66	0.50	1.10	4.26	1.12	1.15	0.30	41.80	11.02
27年目	R 37	0.98757	0.98903	0.99695	0.98916	0.2534	102.8	20.64	6.73	8.67	36.04	9.13	2.62	0.49	1.10	4.21	1.07	1.14	0.29	41.39	10.49
28年目	R 38	0.98741	0.98891	0.99694	0.98904	0.2437	102.8	20.38	6.66	8.64	35.68	8.69	2.59	0.49	1.09	4.17	1.02	1.13	0.27	40.97	9.99
29年目	R 39	0.98725	0.98879	0.99693	0.98892	0.2343	102.8	20.12	6.58	8.61	35.32	8.27	2.56	0.48	1.09	4.13	0.97	1.11	0.26	40.56	9.50
30年目	R 40	0.98709	0.98866	0.99693	0.98880	0.2253	102.8	19.86	6.51	8.59	34.95	7.88	2.53	0.48	1.09	4.09	0.92	1.10	0.25	40.14	9.04
31年目	R 41	0.98692	0.98853	0.99692	0.98867	0.2166	102.8	19.60	6.43	8.56	34.59	7.49	2.49	0.47	1.08	4.05	0.88	1.09	0.24	39.73	8.61
32年目	R 42	0.98675	0.98839	0.99691	0.98854	0.2083	102.8	19.34	6.36	8.54	34.23	7.13	2.46	0.47	1.08	4.00	0.83	1.08	0.22	39.31	8.19
33年目	R 43	0.98657	0.98826	0.99690	0.98841	0.2003	102.8	19.08	6.29	8.51	33.87	6.78	2.43	0.46	1.08	3.96	0.79	1.06	0.21	38.90	7.79
34年目	R 44	0.98639	0.98812	0.99689	0.98827	0.1926	102.8	18.82	6.21	8.48	33.51	6.45	2.39	0.45	1.07	3.92	0.76	1.05	0.20	38.48	7.41
35年目	R 45	0.98620	0.98798	0.99688	0.98813	0.1852	102.8	18.56	6.14	8.46	33.15	6.14	2.36	0.45	1.07	3.88	0.72	1.04	0.19	38.07	7.05
36年目	R 46	0.98601	0.98783	0.99687	0.98799	0.1780	102.8	18.30	6.06	8.43	32.79	5.84	2.33	0.44	1.07	3.84	0.68	1.03	0.18	37.65	6.70
37年目	R 47	0.98581	0.98768	0.99686	0.98785	0.1712	102.8	18.04	5.99	8.40	32.43	5.55	2.29	0.44	1.06	3.80	0.65	1.01	0.17	37.24	6.38
38年目	R 48	0.98560	0.98753	0.99685	0.98770	0.1646	102.8	17.78	5.91	8.38	32.07	5.28	2.26	0.43	1.06	3.75	0.62	1.00	0.16	36.82	6.06
39年目	R 49	0.98539	0.98737	0.99684	0.98754	0.1583	102.8	17.52	5.84	8.35	31.71	5.02	2.23	0.43	1.06	3.71	0.59	0.99	0.16	36.41	5.76
40年目	R 50	0.98518	0.98721	0.99683	0.98739	0.1522	102.8	17.26	5.76	8.32	31.35	4.77	2.19	0.42	1.05	3.67	0.56	0.98	0.15	35.99	5.48
41年目	R 51	0.98495	0.98704	0.99682	0.98722	0.1463	102.8	17.00	5.69	8.30	30.99	4.53	2.16	0.42	1.05	3.63	0.53	0.96	0.14	35.58	5.20
42年目	R 52	0.98472	0.98687	0.99681	0.98706	0.1407	102.8	16.74	5.61	8.27	30.62	4.31	2.13	0.41	1.05	3.59	0.50	0.95	0.13	35.16	4.95
43年目	R 53	0.98449	0.98670	0.99680	0.98689	0.1353	102.8	16.48	5.54	8.24	30.26	4.09	2.10	0.41	1.04	3.54	0.48	0.94	0.13	34.75	4.70
44年目	R 54	0.98424	0.98652	0.99679	0.98672	0.1301	102.8	16.22	5.46	8.22	29.90	3.89	2.06	0.40	1.04	3.50	0.46	0.93	0.12	34.33	4.47
45年目	R 55	0.98399	0.98633	0.99678	0.98654	0.1251	102.8	15.96	5.39	8.19	29.54	3.70	2.03	0.39	1.04	3.46	0.43	0.91	0.11	33.92	4.24
46年目	R 56	0.98373	0.98614	0.99677	0.98635	0.1203	102.8	15.70	5.31	8.16	29.18	3.51	2.00	0.39	1.03	3.42	0.41	0.90	0.11	33.50	4.03
47年目	R 57	0.98346	0.98595	0.99676	0.98616	0.1157	102.8	15.44	5.24	8.14	28.82	3.33	1.96	0.38	1.03	3.38	0.39	0.89	0.10	33.09	3.83
48年目	R 58	0.98318	0.98575	0.																	

## 参考様式-1

路線名	箇所名	車線数	延長
高知東部自動車道	南国安芸道路(芸西西～安芸西)	2	8.5km

### ■事業費内訳 (全体事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					33,203	
	改良費				9,145	
		土工	m <sup>3</sup>	1,424,112	2,909	切土(585,606m <sup>3</sup> )、盛土(583,900m <sup>3</sup> )、捨土(254,606m <sup>3</sup> )
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>			
		法面工	m <sup>2</sup>	0	0	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	1,171	逆T式擁壁、もたれ式擁壁等
		管渠工	m			
		函渠工	m	400	3,736	
		排水工	m	4,945	907	
		中央分離帯工	m			
		雑工	式	1	422	機能補償道路(460m)・水路(690m)等
	橋梁費				15,350	
		100m以上	m	2,135	12,200	連続高架橋2橋、PC橋1橋、鋼橋2橋
		100m未満	m	483	3,150	PC橋8橋、鋼橋2橋
	トンネル費				3,896	
		NATM	m	445	3,896	1本
		シールド	m			
	IC・JCT費				2,641	
		IC	箇所	2	2,641	ダイヤモンド型ハーフ(2)
		JCT	箇所			
	舗装費				1,029	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	73,858	1,029	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>			
	付帯施設費				1,142	
		交通管理施設工	式	1	228	標識工、防護柵工等、道路照明等
		遮音壁	m	8,487	914	
②用地及補償費					4,185	
	用地費		m <sup>2</sup>	352,981	2,290	
		宅地	m <sup>2</sup>	16,666	917	
		田畑	m <sup>2</sup>	297,857	1,284	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	40,440	90	
		その他	m <sup>2</sup>			
	補償費		式	1	1,895	
③間接経費					6,112	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					43,500	

#### 【単価等について】

- 工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用するとともに、赤土砂対策費用を考慮
- 用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用



## 参考様式-1

路線名	箇所名	車線数	延長
高知東部自動車道	南国安芸道路(芸西西～安芸西)	2	8.5km

### ■事業費内訳 (残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					31,233	
	改良費				6,504	
		土工	m <sup>3</sup>	1,380,990	3,781	切土(549,106m <sup>3</sup> )、盛土(582,520m <sup>3</sup> )、捨土(254,606m <sup>3</sup> )
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>			
		法面工	m <sup>2</sup>	0	0	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	1,109	逆T式擁壁、もたれ式擁壁等
		管渠工	m			
		函渠工	m	214	301	
		排水工	m	4,442	896	
		中央分離帯工	m			
		雑工	式	1	417	機能補償道路(460m)・水路(690m)等
	橋梁費				16,023	
		100m以上	m	2,135	12,873	連続高架橋2橋、PC橋1橋、鋼橋2橋
		100m未満	m	483	3,150	PC橋8橋、鋼橋2橋
	トンネル費				3,896	
		NATM	m	445	3,896	1本
		シールド	m			
	IC・JCT費				2,641	
		IC	箇所	2	2,641	ダイヤモンド型ハーフ(2)
		JCT	箇所			
	舗装費				1,027	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	73,714	1,027	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>			
	付帯施設費				1,142	
		交通管理施設工	式	1	228	標識工、防護柵工等、道路照明等
		遮音壁	m	8,487	914	
②用地及補償費					747	
	用地費		m <sup>2</sup>	87,680	401	
		宅地	m <sup>2</sup>	1,490	82	
		田畑	m <sup>2</sup>	69,150	297	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	25,165	22	
		その他	m <sup>2</sup>			
	補償費		式	1	346	
③間接経費					1,927	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					33,907	

#### 【単価等について】

- 工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用するとともに、赤土砂対策費用を考慮
- 用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道55号	南国安芸道路(芸西西～安芸西)	2	8.5km

### ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	8.5	1,450	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	6,200	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			7,650	

#### 【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。